

リニアPCMレコーダー
PCM-D10



リニアPCMレコーダーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

PCM-D10の特長

PCM-D10でできること

準備する

箱の中身を確認する

各部のなまえ

ホームメニュー／オプションメニュー

ホームメニューの使いかた

オプションメニューの使いかた

オプションメニュー一覧

フォルダとファイルについて

表示窓

ホームメニュー操作時の表示

[録音時／録音停止時の表示](#)

[再生時の表示](#)

[録音情報の表示](#)

[ファイル情報の表示](#)

[検索方法選択時の表示](#)

電源を準備する

[電池を入れる](#)

[USB ACアダプターにつないで使う](#)

[USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す](#)

[電源を入れる](#)

[電源を切る](#)

初期設定をする

誤動作を防止する

[誤操作を防止する（ホールド）](#)

[ホールドを解除する](#)

録音する

録音前の準備

[録音時の設置のしかた](#)

[内蔵マイクの向きと感度を調整する](#)

[市販のカメラ用三脚を使って設置する](#)

[ウインドスクリーンを使う](#)

録音する

[内蔵マイクで録音する](#)

[録音レベルのピークメーター表示について](#)

[録音レベルのピークレベルランプについて](#)

[録音中の音を聞く（録音モニター）](#)

[いろいろな録音操作](#)

[録音先メモリーとフォルダを変更する](#)

録音の設定を変える

[SDカードに録音する](#)

[少し前から録音する（プリレコーディング機能）](#)

[メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)

接続して録音する

[外部マイクをMIC IN/LINE INジャックに接続して録音する](#)

[外部マイクをXLR/TRSジャックに接続して録音する](#)

[マイクの音量を瞬時に下げる（マイクアッテネート）](#)

[MIC IN/LINE INジャックに接続した外部機器からLINE入力で録音する](#)

[XLR/TRSジャックに接続した外部機器からLINE入力で録音する](#)

再生する

再生する

[ファイルを再生する](#)

[ファイルを選ぶ](#)

[トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す](#)

[いろいろな再生操作](#)

再生の設定を変える

[再生速度を調節する – DPC \(Digital Pitch Control\)](#)

[音程を調節する（キーコントロール）](#)

[音質を切り替える（イコライザー）](#)

[再生モードを変える](#)

[必要な部分だけを再生する – A-Bリピート](#)

[1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

[再生範囲を指定する](#)

[早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

[すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

外部機器に接続して再生する

ワイヤレスで音楽を楽しむ（Bluetoothオーディオ機器で聞く）

[Bluetoothオーディオ機器と接続してできること](#)

[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)

[ワントッチ接続（NFC接続）する](#)

[Bluetooth機能の設定を変更する](#)

[Bluetooth接続を切断する](#)

[Bluetooth接続を再接続する](#)

[Bluetooth情報を表示する](#)

[Bluetooth機能についてのご注意](#)

スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する (REC Remote)

[REC Remoteでできること](#)

[REC Remoteを準備する](#)

[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

[ワントッチ接続 \(NFC接続\) する](#)

[スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する](#)

[Bluetooth接続を切断する](#)

[Bluetooth接続を再接続する \(Androidの場合\)](#)

[Bluetooth接続を再接続する \(iOSの場合\)](#)

編集する

削除する

[ファイルを削除する](#)

[フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

[フォルダを削除する](#)

ファイルを整理する

[ファイルを別のフォルダに移動する](#)

[ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

[フォルダを作成する](#)

トラックマークを使う

[トラックマークを付ける](#)

[トラックマークを自動で付ける](#)

[トラックマークを削除する](#)

[すべてのトラックマークを削除する](#)

ファイルを分割する

[現在位置でファイルを分割する](#)

[すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

なまえを変更する

[フォルダ名を変更する](#)

[ファイル名を変更する](#)

[ファイルを保護する](#)

各種設定メニュー

各種設定メニューを使う

[各種設定メニュー一覧](#)

設定できる項目

[録音モードを選ぶ \(録音モード\)](#)

[ステレオ録音/モノラル録音を設定する \(ステレオ/モノラル\)](#)

[ピーク表示のリセット方法を設定する \(ピークホールド\)](#)

[ノイズを軽減して録音する \(LCF\(Low Cut\)\)](#)

[音のひずみを防ぐために入力を調整する \(リミッター\)](#)

[高いS/N比で録音する \(高S/Nモード\)](#)

[接続マイクの電源をリニアPCMレコーダーから供給する \(プラグインパワー\)](#)

[ランプの点灯、消灯を設定する \(ランプ\)](#)

[バックライトの点灯、消灯を設定する \(バックライト\)](#)

[操作音の設定をする \(操作音\)](#)

[表示言語を切り替える \(言語設定 \(Language\)\)](#)

[日付や時刻を合わせる \(日付時刻設定\)](#)

[時刻表示の形式を選ぶ \(時刻表示形式\)](#)

[低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する \(オートスタンバイ\)](#)

[使用する電池の種類を選ぶ \(電池設定\)](#)

[カスタムキー \(C1/C2\) に機能を登録する \(カスタムキー設定\)](#)

[メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す \(設定初期化\)](#)

[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化\)](#)

[録音可能時間を確認する \(録音可能時間\)](#)

[リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する \(本体情報\)](#)

パソコンにつないで使う

[リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

[リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

[フォルダとファイルの構成](#)

[ファイルをリニアPCMレコーダーからパソコンにコピーして保存する](#)

[パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする](#)

[パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する](#)

[USBメモリーとして利用する](#)

主な仕様

[リニアPCMレコーダーで使用できるSDカード](#)

[必要なシステム構成](#)

[リニアPCMレコーダーの仕様](#)

[最大録音時間](#)

[音楽ファイル最大再生時間／ファイル数](#)

[電池の持続時間](#)

お知らせ

[保証書とアフターサービス](#)

[商標について](#)

お問い合わせ

└ [電話・FAXで問い合わせる](#)

サポートホームページ

└ [サポートホームページで調べる](#)

困ったときは／よくある質問

[困ったときは](#)

ノイズ

└ [外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。](#)

└ [雑音が入る。](#)

└ [録音中「ピー」という音がする。](#)

電源

└ [電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。](#)

電池の持続時間が短い。

動作

正常に動作しない。

ランプが点灯／点滅しない。

録音

録音できない。

SDカードに録音できない。

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。

入力される音がひずむ。

再生

内蔵スピーカーから音が出ない。

ヘッドホンから音が出ない。

Bluetoothオーディオ機器から音が出ない。

Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

「イコライザー」で音質が変化しない。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

ファイルを再生できない。

編集

ファイルを削除できない。

ファイルを分割できない。

ファイルを移動できない。

ファイルを別のフォルダへコピーできない。

トラックマークを認識しない。

作成したフォルダやファイルが見えない。

時計

録音日時が「--y--m--d--:--:--」と表示される。

表示

オプションメニュー表示の項目が足りない。

フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。

「しばらくお待ちください」表示が消えない。

ファイル

- 「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。
- 「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。
- SDカードが認識されない。

パソコン

- ファイルコピーに時間がかかる。
- パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。
- リニアPCMレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。
- パソコンが起動しない。

Bluetoothオーディオ機器

- リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。
- Bluetooth接続ができない。
- ワントッチ接続（NFC接続）ができない。
- Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

REC Remote

- リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。
- Bluetooth接続ができない。
- ワントッチ接続（NFC接続）ができない。

メッセージ表示一覧

システム上の制約

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

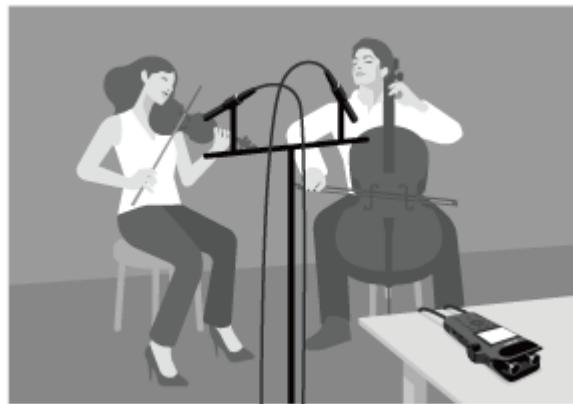
PCM-D10でできること

ライブ演奏の録音に



- 内蔵マイクで簡単に録音できます。複雑なマイクセッティングは不要です。
- お使いのスマートフォンに専用アプリ「REC Remote」をインストールして使用すると、離れた場所から録音開始／停止などのリニアPCMレコーダーの操作ができます。
- 市販のカメラ用三脚に取り付けられます。
- クロスメモリー録音機能を使って、内蔵メモリーからSDカードに録音ファイルの保存先を自動的に切り替え、長時間の録音ができます。

外部マイクで楽器演奏の録音に



- 市販のXLR端子やTRS端子を搭載した外部マイクをリニアPCMレコーダーのXLR/TRSジャックに接続することができます。
- 市販のステレオミニプラグの付いた外部マイクをリニアPCMレコーダーのMIC IN/LINE INジャックに接続することができます。
- 単3形アルカリ乾電池4本でロングバッテリーライフを実現。MIC IN/LINE INジャックに外部マイクを接続して約44時間（録音モード：LPCM 44.1 kHz/16 bit）、XLR/TRSジャックに外部マイクを接続して約6時間（録音モード：LPCM 44.1 kHz/16 bit、ファンタム電源：ON）の録音ができます。
- 録音時と再生時の音声は、L/R独立して聞くことができます。

関連項目

- [REC Remoteでできること](#)
- [メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)

- 外部マイクをXLR/TRSジャックに接続して録音する
- 外部マイクをMIC IN/LINE INジャックに接続して録音する
- 録音中の音を聞く（録音モニター）

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

箱の中身を確認する

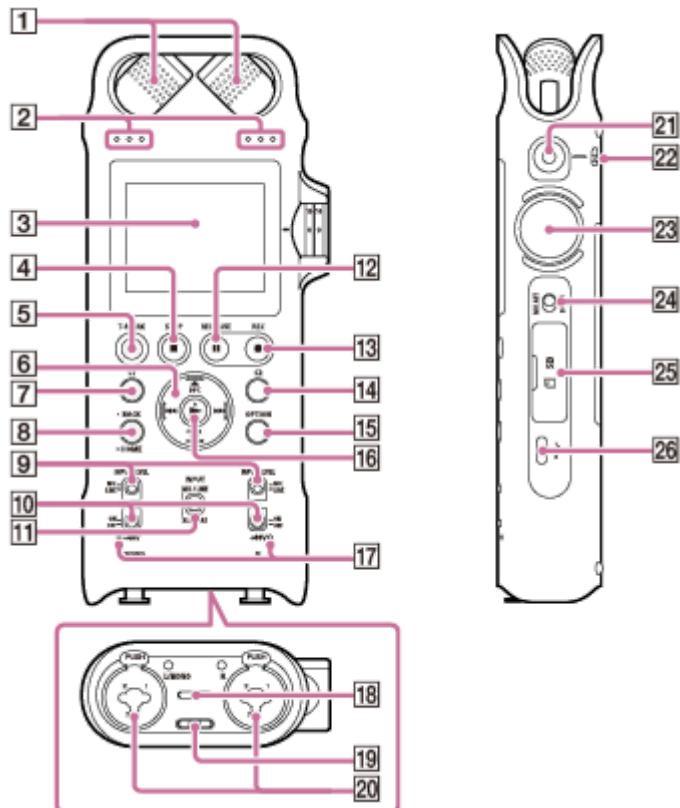
-
- 本体 (1)
 - USB Type-C™ケーブル (USB-A - USB-C) (1)
 - キャリングポーチ (1)
 - ウィンドスクリーン (1)
 - ソニー単3形アルカリ乾電池 (4)
 - 取扱説明書 (1)
 - REC Remote (レックリモート) を使う (1)
 - SOUND FORGE Audio Studio 12 インストールガイド (1)
 - 保証書 (1)
 - 製品のサポート登録のおすすめ (1)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

各部のなまえ

本体前面、本体右側面

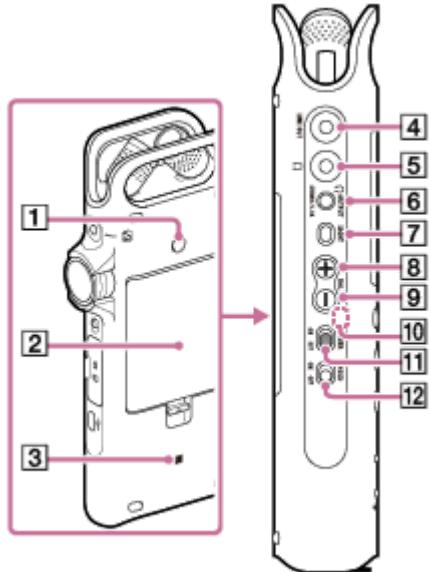


1. 内蔵マイク
2. ピークレベルランプ (L/R)
3. 表示窓
4. ■STOP (停止) ボタン
5. T-MARK (トラックマーク) ボタン
6. コントロールボタン (▲ DPC (速度調節) 、 ▼ (リピート) A-B、 ◀ (早戻し) 、 ▶ (早送り))
7. C1 (カスタム1) ボタン
8. BACK/ HOME (戻る/ホーム (長押し)) ボタン
9. XLR/TRS INPUT LEVEL (XLR/TRS入力種別切り替え) スイッチ (L/R)
10. ファンタム電源スイッチ (L/R)
11. INPUT (入力切り替え) スイッチ
12. ■REC PAUSE (録音一時停止) ボタン/ランプ

13. ● REC (録音) ボタン/ランプ
14. C2 (カスタム2) ボタン
15. OPTION (オプション) ボタン
16. ▶ (再生/決定) ボタン (*)
17. ファンタム電源ランプ (L/R)
18. 内蔵スピーカー
19. ストラップ取り付け部 (ストラップは付属していません。)
20. XLR/TRSジャック (L/R)
21. MIC IN/LINE INジャック (φ3.5ステレオジャック)
22. MIC/LINE INPUT LEVEL (MIC/LINE入力種別切り替え) スイッチ
23. REC LEVEL (録音レベル) ダイヤル
24. MIC ATT (マイクアッテネーター) スイッチ
25. SDカードスロット (スロット蓋の中にあります。)
26. USB Type-C™端子

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

■ 本体背面、本体左側面



1. 三脚取り付け用穴
(三脚は付属していません。)
2. 電池蓋
3. (Nマーク)
(NFC機能があるスマートフォンやBluetoothオーディオ機器をここにタッチして接続します。)
4. LINE OUT (ライン出力) ジャック
5. ⚡ (ヘッドホン) ジャック

6. OUTPUT (ヘッドホン出力切り替え) ボタン

7. LIGHT (ライト) ボタン

8. VOL+ (音量+) ボタン (*1)

9. VOL- (音量-) ボタン

10. 内蔵Bluetoothアンテナ (*2)

11. POWER (電源) スイッチ

12. HOLD (ホールド) スイッチ

*1 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

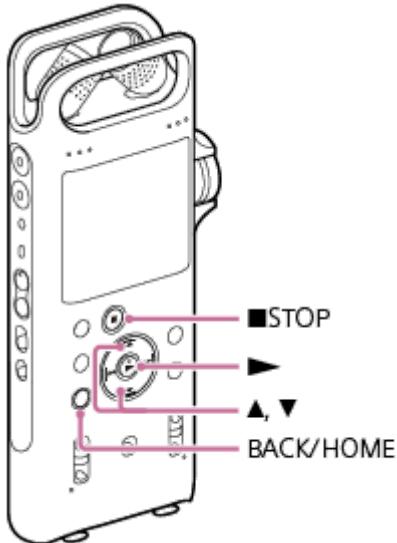
*2 Bluetooth機器と接続します。Bluetooth接続中は手などでおおわないようにしてください。Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ホームメニューの使いかた

リニアPCMレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。



1 BACK/HOMEボタンを長押しする。

ホームメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼ボタンを押して、使いたい機能を選び、▶ボタンを押す。

以下の機能を選択できます。

■ 録音 :

録音画面を表示します。録音を開始するには、リニアPCMレコーダーのボタンを操作します。

□ 録音したファイル :

リニアPCMレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。

録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

□ ミュージック :

パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。

音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

ファイルを転送するときは、MUSICフォルダ内に入れてください。

Bluetooth :

REC RemoteやNFC、Bluetoothオーディオ機器など、Bluetooth機能を使用するメニューを表示します。

■ 各種設定 :

各種設定メニューを表示して、リニアPCMレコーダーのさまざまな設定ができます。

□ XX (*) 画面へ :

ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

ヒント

- ホームメニューで操作中に ■ STOPボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

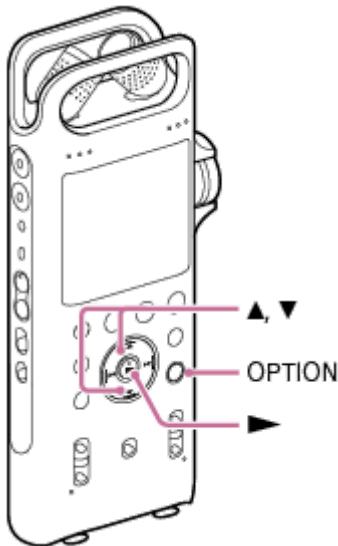
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

オプションメニューの使いかた

OPTIONボタンを押すと、リニアPCMレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

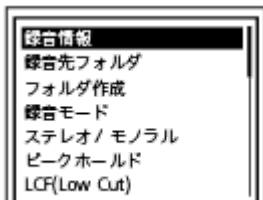
ご注意

- 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。



1 ホームメニューで機能を選んだあと、OPTIONボタンを押す。

使用している機能のオプションメニューが表示されます。



2 ▲または▼ボタンを押して、設定したい項目を選び、►ボタンを押す。

3 ▲または▼ボタンを押して設定し、►ボタンを押す。

ヒント

- 1つ前の画面に戻るには、メニュー操作中にBACK/HOMEボタンを押します。

関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)
- [オプションメニュー一覧](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

オプションメニュー一覧

OPTIONボタンを押して表示される、オプションメニューの一覧を紹介します。
操作や条件によっては表示されない項目もあります。

録音

録音中、録音停止中に表示できます。

- 録音情報：
[録音情報の表示](#)
- 録音先フォルダ：
[録音先メモリーとフォルダを変更する](#)
- フォルダ作成：
[フォルダを作成する](#)
- 録音モード：
[録音モードを選ぶ \(録音モード\)](#)
- ステレオ/モノラル：
[ステレオ録音/モノラル録音を設定する \(ステレオ/モノラル\)](#)
- ピークホールド：
[ピーク表示のリセット方法を設定する \(ピークホールド\)](#)
- ピークリセット：
[ピーク表示のリセット方法を設定する \(ピークホールド\)](#)
- LCF(Low Cut)：
[ノイズを軽減して録音する \(LCF\(Low Cut\)\)](#)
- リミッター：
[音のひずみを防ぐために入力を調整する \(リミッター\)](#)
- 高S/Nモード：
[高いS/N比で録音する \(高S/Nモード\)](#)
- プリレコーディング：
[少し前から録音する \(プリレコーディング機能\)](#)
- クロスメモリー録音：
[メモリーを切り替えて録音を続ける \(クロスメモリー機能\)](#)
- 1ファイル削除：
[ファイルを削除する](#)

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。

- 録音画面へ：
[録音画面に移動します。](#)

- イコライザー：
音質を切り替える（イコライザー）
- キーコントロール：
音程を調節する（キーコントロール）
- イージーサーチ：
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）
- 再生モード：
再生モードを変える
- 再生範囲設定：
再生範囲を指定する
- 1ファイル削除：
ファイルを削除する
- リスト内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- フォルダ内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- 保護：
ファイルを保護する
- 保護解除：
ファイルを保護する
- トランクマーク一覧：
トランクマーク一覧から目的の再生位置を探す
- トランクマーク削除：
トランクマークを削除する
- 分割：
現在位置でファイルを分割する
すべてのトランクマーク位置でファイルを分割する
- ファイル移動：
ファイルを別のフォルダに移動する
- ファイルコピー：
ファイルを別のフォルダにコピーする
- ファイル名変更：
ファイル名を変更する
- ファイル情報：
ファイル情報の表示
- フォルダ作成：
フォルダを作成する
- フォルダ削除：
フォルダを削除する
- フォルダ名変更：
フォルダ名を変更する

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できます。

- イコライザー：
音質を切り替える（イコライザー）
- キーコントロール：
音程を調節する（キーコントロール）
- イージーサーチ：
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）
- 再生モード：
再生モードを変える
- 再生範囲設定：
再生範囲を指定する
- 1ファイル削除：
ファイルを削除する
- リスト内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- フォルダ内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- 保護：
ファイルを保護する
- 保護解除：
ファイルを保護する
- トラックマーク一覧：
トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す
- トラックマーク削除：
トラックマークを削除する
- ファイル情報：
ファイル情報の表示
- フォルダ削除：
フォルダを削除する

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

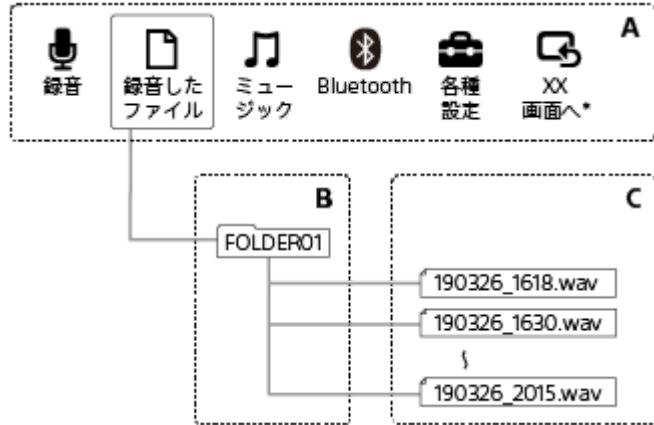
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダとファイルについて

リニアPCMレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成について説明します。

「録音したファイル」の場合

「FOLDER01」：録音したファイルが保存されます。



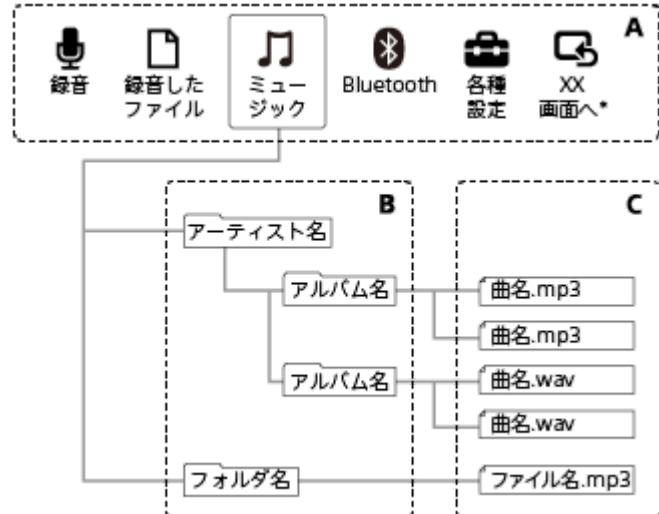
A : ホームメニュー

B : フォルダ

C : ファイル

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

「ミュージック」の場合



A : ホームメニュー

B : フォルダ

C : ファイル

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

関連項目

- ファイルを別のフォルダに移動する

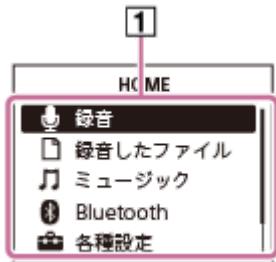
- ファイルを別のフォルダにコピーする
- フォルダとファイルの構成

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ホームメニュー操作時の表示

ホームメニュー操作時の表示を説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ホームメニュー表示

以下のメニューを選択できます。

- マイク : 録音
- : 録音したファイル
- 音符 : ミュージック
- Bluetooth : Bluetooth
- 設定 : 各種設定
- 画面 : XX画面へ (XXには、現在使用している機能が表示されます。)

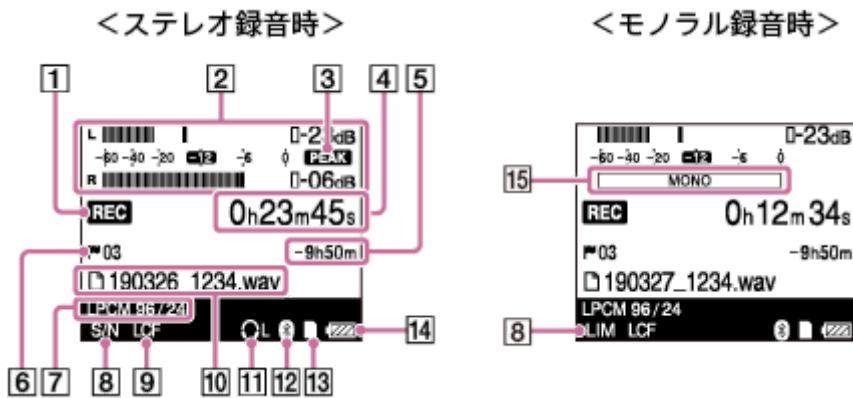
関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音時／録音停止時の表示

録音時／録音停止時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 録音状態

リニアPCMレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

REC : 録音中

●II : 録音一時停止中、録音スタンバイ中に点滅

2. ピークレベルメーター／ピーク値

ピークレベルメーターとピーク値を表示します。過度に大きな音が入力された場合は **OVER** と表示されます。

メニューの「ステレオ/モノラル」設定が「モノラル」のときは、ピークレベルメーター左側の「L」「R」と、Rの領域が表示されません。

3. PEAKアイコン

メニューの「ピークホールド」設定が「マニュアル」のときに表示されます。

4. 経過時間表示

録音の経過時間を表示します。

5. 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

10時間以上の場合 : 時間

10時間未満、10分以上の場合 : 時間と分

10分未満の場合 : 分と秒

6. トランクマーク表示

設定されているトランクマークの数を表示します。

7. 録音モード

メニューで設定されている録音モードが表示されます。

LPCM 192/24、LPCM 176/24、LPCM 96/24、LPCM 96/16、LPCM 88/24、LPCM 88/16、LPCM 48/24、

LPCM 48/16、LPCM 44/24、LPCM 44/16: リニアPCMファイル

MP3 320kbps、MP3 128kbps: MP3ファイル

8. リミッター／高S/Nモード

メニューの「リミッター」設定または「高S/Nモード」設定が有効なときに表示されます。

9. LCF設定

メニューの「LCF(Low Cut)」設定が有効なときに表示されます。

10. ファイル名／フォルダ名

録音時または録音一時停止時にファイル名が表示されます。

録音停止または録音スタンバイ状態のときは、フォルダ名（例：FOLDER01）が表示されます。

11. 出力チャンネル表示

ヘッドホンに出力する音声がLまたはRに設定されているときに表示されます。ステレオ音声を出力しているときは、表示されません。

12. Bluetoothマーク

Bluetooth機能が有効になっているときに表示されます。

13. メモリーカード表示

「録音先フォルダ」の「メモリー選択」で「SDカード」を設定しているときに表示されます。

14. 電池残量

15. モノラルアイコン

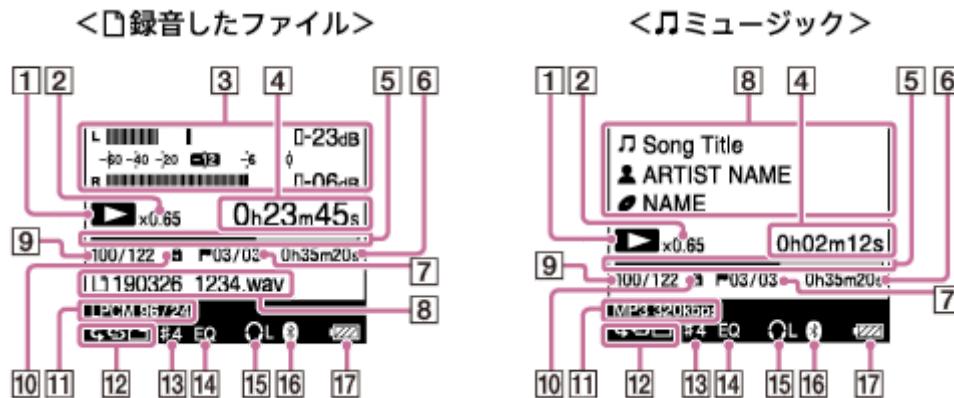
メニューの「ステレオ/モノラル」設定が「モノラル」のときに表示されます。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

再生時の表示

再生時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。

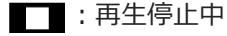
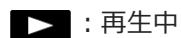


ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 再生状態

リニアPCMレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。



2. DPC速度表示

再生速度を変更して再生しているときに表示されます。

3. ピークレベルメーター/ピーク値（「録音したファイル」のみ）

ピークレベルメーターとピーク値の最大値を数値で表示します。

4. 経過時間表示

1ファイルの再生経過時間を表示します。

5. プログレスバー

再生の進行状況が表示されます。

6. ファイルの長さ

ファイルの長さを表示します。

7. トランクマーク表示

現在位置のトランクマーク番号が表示されます。トランクマークが設定されているときにだけ表示されます。

8. ファイル情報表示

再生中のファイルの情報が表示されます。

リニアPCMレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。

□: ファイル名を表示: 年月日_時刻.拡張子 (例: 191010_1010.wav)

音楽ファイルは、下記の情報が表示されます。

♪: 曲名を表示

👤: アーティスト名を表示

💿: アルバム名を表示

9. ファイル位置情報表示

再生中のファイル番号／総ファイル数を表示します。
選んだファイル番号が分子に、総ファイル数が分母に表示されます。
総ファイル数が4桁を超えると、ファイル番号のみが表示されます。

10. 保護表示

ファイルが保護設定されているときに表示されます。

11. 録音モード

再生中のファイルの録音モードが表示されます。

12. 再生モード／再生範囲設定

アイコンなし：ノーマル（「再生モード」の設定）

 : リピート（「再生モード」の設定）

 1 : 1ファイル再生（「再生モード」の設定）

 1 : 1ファイルリピート（「再生モード」の設定）

 : シャッフル（「再生モード」の設定）

 : シャッフルリピート（「再生モード」の設定）

 : 選択範囲内を再生（「再生範囲設定」の設定）

13. キー表示

再生音の音程を変更しているときに表示されます。

14. イコライザー設定

メニューの「イコライザー」設定が有効なときに表示されます。

15. 出力チャンネル表示

ヘッドホンに出力する音声がLまたはRに設定されているときに表示されます。ステレオ音声を出力しているときは、表示されません。

16. Bluetoothマーク

Bluetooth機能がオンになっているときに表示されます。

17. 電池残量

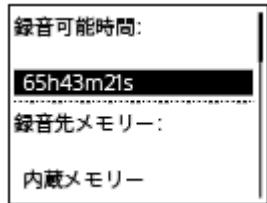
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音情報の表示

録音可能時間や録音先のメモリー、フォルダの設定などを表示します。

録音情報を表示するには、録音停止中にオプションメニュー「録音情報」を選び、▶ボタンを押して決定します。



表示される録音情報は以下のとおりです。

録音可能時間 :

録音可能な残り時間を表示します。

録音先メモリー :

録音先のメモリー（「内蔵メモリー」または「SDカード」）を表示します。

録音先フォルダ :

録音先のフォルダ名を表示します。

録音モード :

選択中の録音モードを表示します。

ステレオ/モノラル :

録音時の音声入力（ステレオ/モノラル）の設定を表示します。

入力 :

入力モードを表示します。

LCF(Low Cut) :

LCF(Low Cut)の設定状態を表示します。

リミッター :

リミッター機能の設定状態を表示します。

高S/Nモード :

高S/Nモードの設定状態を表示します。

プリレコーディング :

プリレコーディング機能の設定状態を表示します。

プラグインパワー :

プラグインパワーの設定状態を表示します。

自動トラックマーク :

自動トラックマークの設定状態を表示します。

自動トラックマークの時刻情報 :

自動トラックマークの時刻情報の設定状態を表示します。

クロスメモリー録音 :

クロスメモリー録音の設定状態を表示します。

ヒント

- 録音情報は、録音停止中に ■ STOPボタンを押して表示することもできます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイル情報の表示

現在選択しているファイルの情報（ファイルの長さや録音モード、作成日時など）を説明します。

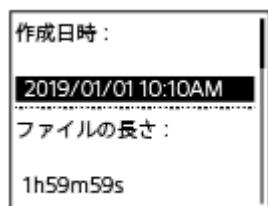
ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

リニアPCMレコーダーで録音したファイルまたは音楽ファイルの再生停止中に、オプションメニューから「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。▲または▼ボタンを押して、表示をスクロールします。

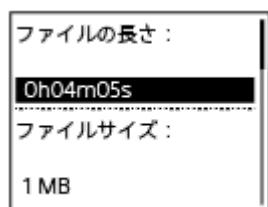
確認できる情報は以下のとおりです。

録音したファイルの情報表示



- 作成日時：ファイルの録音日時（年/月/日/時刻）を表示します。
- ファイルの長さ：ファイルの記録時間を時間、分、秒で表示します。
- ファイルサイズ：ファイルのサイズを表示します。
- 録音した機器：録音した機器を表示します。
- 録音モード：録音時の録音モード設定を表示します。
- 入力チャンネル数：録音時の入力チャンネル数を表示します。
- LCF(Low Cut)：録音時のLCF(Low Cut)の設定を表示します。
- リミッター：録音時のリミッター機能の設定を表示します。
- 高S/Nモード：録音時の高S/Nモードの設定を表示します。
- 入力：録音時の入力を表示します（内蔵マイク、外部マイク、LINE IN、XLR/TRS）。
- メモリー：ファイルの保存先メモリーを表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

音楽ファイルの情報表示



- ファイルの長さ：ファイルの記録時間を時間、分、秒で表示します。
- ファイルサイズ：ファイルのサイズを表示します。
- コーデック：音楽ファイルのコーデックを表示します。
- ビットレート：音楽ファイルのビットレートを表示します。
- サンプリング周波数：音楽ファイルのサンプリング周波数を表示します。
- 量子化ビット数：音楽ファイルの量子化ビット数を表示します。
- メモリー：ファイルの保存先メモリーを表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

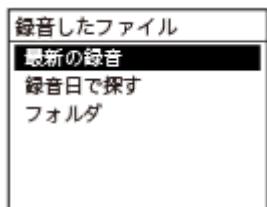
検索方法選択時の表示

ホームメニューで「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選ぶと、ファイルの検索方法を選択する表示窓が表示されます。

ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

録音したファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

最新の録音 :

最新の録音ファイルを再生します。

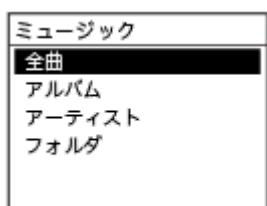
録音日で探す :

録音日からファイルを探します。

フォルダ :

選択したフォルダからファイルを探します。

音楽ファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

全曲 :

全曲の曲名リストからファイルを探します。

アルバム :

全アルバムのアルバム名リストからファイルを探します。

アーティスト :

全アーティストのアーティスト名リストからファイルを探します。

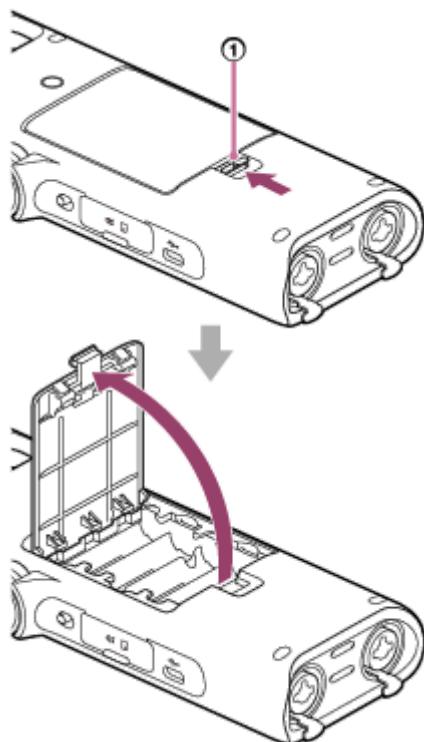
フォルダ :

選択したフォルダからファイルを探します。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

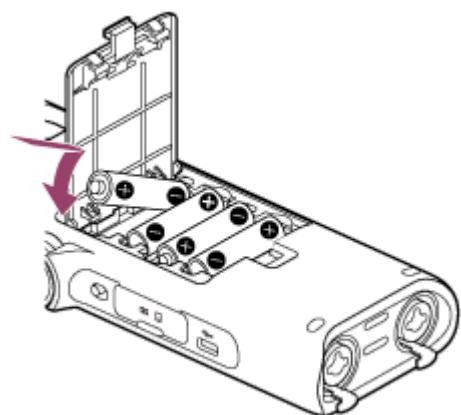
電池を入れる

- 1 本体背面の電池蓋のタブ（①）を矢印の方向に押しながら持ち上げて、電池蓋を開ける。



- 2 付属の単3形アルカリ乾電池4本を入れる。

電池の+と-の向きを正しく入れてください。



- 3 電池蓋を閉める。

関連項目

- 使用する電池の種類を選ぶ（電池設定）

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

USB ACアダプターにつないで使う

USB ACアダプターを使って、家庭用電源コンセントにつないで使用することもできます。

長時間録音をする場合などに便利です。

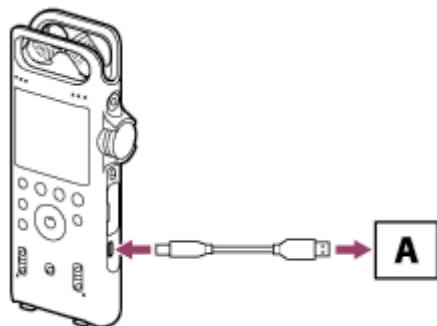
また、ファンタム電源スイッチを「ON」の位置に合わせて使用する場合は、電池の消費が大きくなるため、USB ACアダプターにつなぐことをおすすめします。

市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの動作は保証しておりません。

また、USB ACアダプターを接続してリニアPCMレコーダーで充電式電池を充電することはできません。

- 1 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

- 2 付属のUSB Type-Cケーブルで、リニアPCMレコーダーのUSB Type-C端子とUSB ACアダプターをつなぐ。



A: USB ACアダプター (別売)

ご注意

- 録音中や録音一時停止中など、本体機能の動作中は、電池を外したり、USB ACアダプターを抜いたり、USB Type-Cケーブルを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

ヒント

- USB ACアダプターにつないで使用中、急な停電やケーブル抜けがあった場合に、大切な録音機会を逃さないためにも、リニアPCMレコーダーに残量のある電池を入れておくことをおすすめします。

関連項目

- [USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す](#)
- [電池を入れる](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、リニアPCMレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■STOPボタンを押して動作を停止する。
- 2 リニアPCMレコーダーにつないだ付属のUSB Type-CケーブルをUSB Type-C端子から取り外し、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中や録音一時停止中など、本体機能の動作中は、電池を外したり、USB ACアダプターを抜いたり、USB Type-Cケーブルを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

関連項目

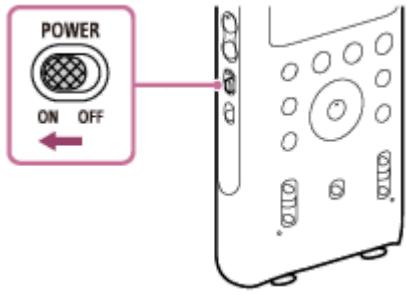
- [USB ACアダプターにつないで使う](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電源を入れる

- 1 POWERスイッチを「ON」の位置にスライドさせる。



ヒント

- 電池で使用しているときは、停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートスタンバイ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）
- 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

関連項目

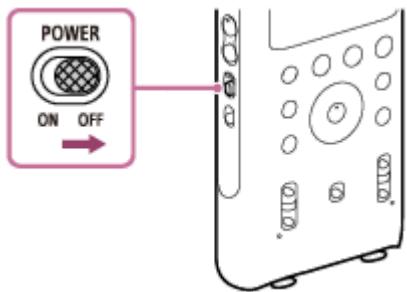
- [電源を切る](#)
- [低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する（オートスタンバイ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電源を切る

1 POWERスイッチを「OFF」の位置にスライドさせる。

表示窓に「電源オフ」と表示され、電源が切れます。



ヒント

- 電池で使用しているときは、停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートスタンバイ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）

関連項目

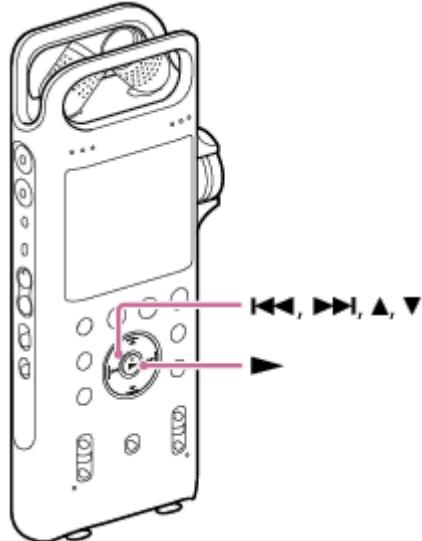
- [電源を入れる](#)
- [低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する（オートスタンバイ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

初期設定をする

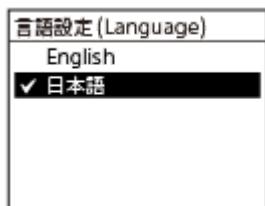
お買い上げのあと、初めて電源を入れた際に「初期設定をしてください」と表示されます。

初期設定では、言語、時計、操作音の設定を行います。



1 ▶ボタンを押す。

「言語設定」画面が表示されます。



2 ▲または▼ボタンを押して表示窓に表示する言語を選び、▶ボタンを押す。

「日本語」または「English」（英語）を選ぶことができます。

「日付時刻設定」画面が表示されます。

3 年月日と時分を合わせる。

▲または▼ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。また、BACK/HOMEボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

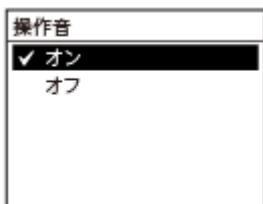


- 4 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「次へ」を選ぶ。



操作音の設定画面が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。



設定が完了すると、ホームメニューが表示されます。

ヒント

- 電池を取り外してから2分以上経過したあとに電池を入れ直したり、新しい電池に取り替えたりしたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り外す前に最後に操作した日時が表示されます。現在の日時に設定し直してください。
- 言語設定、時計設定および操作音設定は、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」で後から変更することもできます。
- 初期設定後、リニアPCMレコーダーをホールドにすると現在時刻が表示されます。

関連項目

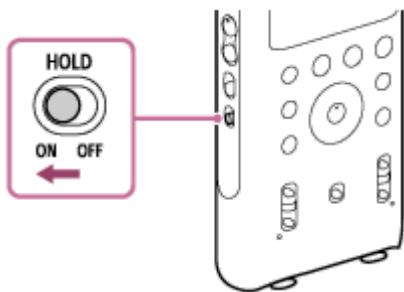
- [表示言語を切り替える（言語設定（Language））](#)
- [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)
- [時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）](#)
- [操作音の設定をする（操作音）](#)
- [ホームメニュー操作時の表示](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

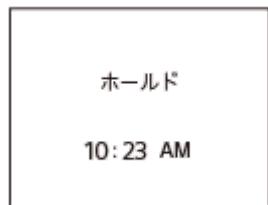
誤操作を防止する（ホールド）

リニアPCMレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

1 HOLDスイッチを「ON」の位置にスライドさせる。



電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



ご注意

- ホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。操作する場合は、ホールドを解除してください。

ヒント

- ホールド状態でも、以下のスイッチおよびダイヤルは操作することができます。
 - REC LEVELダイヤル
 - POWERスイッチ
 - INPUTスイッチ
 - MIC/LINE INPUT LEVELスイッチ
 - ファンタム電源スイッチ
 - XLR/TRS INPUT LEVELスイッチ
 - MIC ATTスイッチ

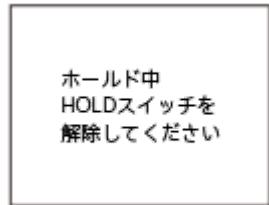
関連項目

- [ホールドを解除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

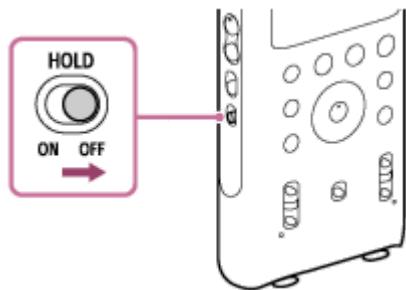
ホールドを解除する

ホールドになっているときにボタンを操作すると、「ホールド中 HOLDスイッチを解除してください」と表示されます。



ホールド機能を解除してボタン操作ができるようにしてください。

1 HOLDスイッチを「OFF」の位置にスライドさせる。



関連項目

- 誤操作を防止する（ホールド）

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音時の設置のしかた

リニアPCMレコーダーを設置するときは、内蔵マイクが音源に向くように、マイクの向きを調節します。左右方向の音を正しく記録するには、リニアPCMレコーダーの前面を上に向けて置いてください。設置する位置やマイクの向きは、音源や使用するマイク、リニアPCMレコーダーの設定などによって異なりますので、マイクの特性を参考に、いろいろな設置位置での録音をお試しになることをおすすめします。

内蔵マイクを使って楽器の演奏を録音する場合の設置例

内蔵マイクの特性を考慮しながら、音源に対するリニアPCMレコーダーの向きとマイクの角度を調節してください。内蔵マイクの特性については「[内蔵マイクの向きと感度を調整する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [内蔵マイクで録音する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

内蔵マイクの向きと感度を調整する

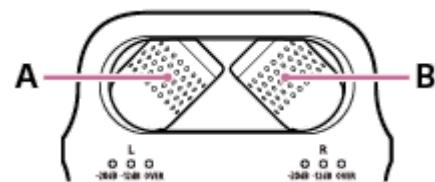
内蔵マイクの指向性について

内蔵マイクは、単一指向性です。録音するシーンに合わせて角度を変えることができます。

両方のマイクを内側に向けた場合（X-Yポジション）

右側に設置されたマイクが左方向の音を、左側に設置されたマイクが右方向の音を拾います。自然で奥行きのあるステレオ感が得られます。ソロ演奏や2~3人のセッションなど、近い距離での録音におすすめです。

音源が極端にマイクに近づきすぎると、左右逆に音声が入力されますのでご注意ください。

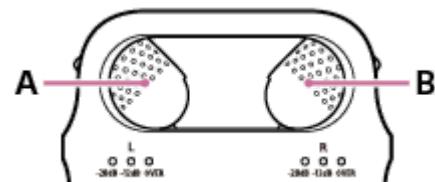


A : 右方向の音を集める。

B : 左方向の音を集める。

両方のマイクを外側に向けた場合（ワイドステレオポジション）

右側に設置されたマイクが右方向の音を、左側に設置されたマイクが左方向の音を拾います。広がりのあるステレオ感が得られます。コーラスやオーケストラなど大人数の演奏をホールで録音するなど、音源から距離がある場合におすすめです。



A : 左方向の音を集める。

B : 右方向の音を集める。

マイク入力の感度を切り替えるには

MIC ATTスイッチを切り替えます。

通常は「0」の位置に合わせておきます。大きい音を録音するときは、「20」の位置に合わせます。詳しくは、「[マイクの音量を瞬時に下げる（マイクアッテネート）](#)」をご覧ください。

関連項目

- [録音時の設置のしかた](#)
- [内蔵マイクで録音する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

市販のカメラ用三脚を使って設置する

本体背面の三脚取り付け用穴に市販のカメラ用三脚を取り付けると、本体や内蔵マイクの角度をより正確に調節できます。また、手と本体の摩擦により発生しやすいノイズを防げます。

お使いのカメラ用三脚のネジがリニアPCMレコーダーの三脚取り付け用穴に合わない場合は、市販の変換ネジをお使いください。



4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

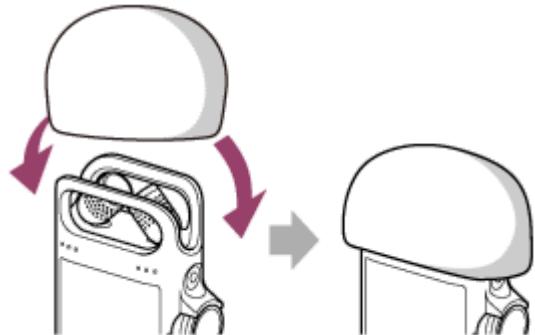
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ウインドスクリーンを使う

内蔵マイクに付属のウインドスクリーンをかぶせると、風や息が直接当たるときに発生する「ボコボコ」という雑音が軽減されます。

ウインドスクリーンの両端を引っ張り、ピークレベルランプがすっぽり隠れる深さまでウインドスクリーンをかぶせてください。

本体とウインドスクリーンに隙間ができるないようにかぶせてください。隙間があると効果がありません。

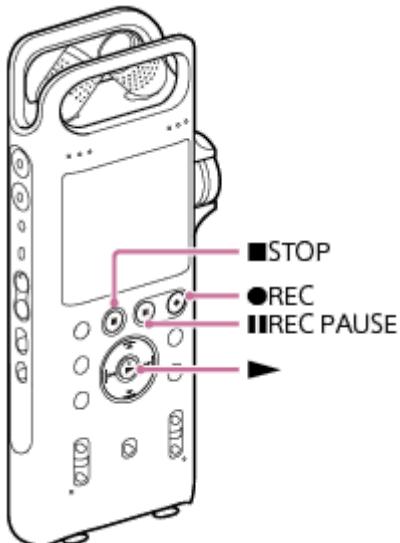


4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

内蔵マイクで録音する

設定した録音モードで録音を行います。



ご注意

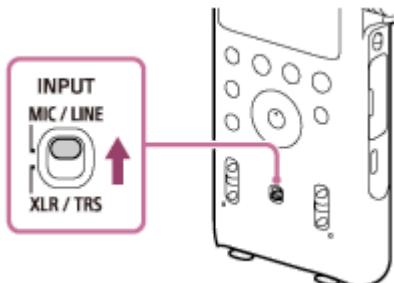
- 録音中、リニアPCMレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音を聞く（録音モニター）](#)」をご覧ください。
- 録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したい場合は、「[録音先メモリーとフォルダを変更する](#)」をご覧ください。

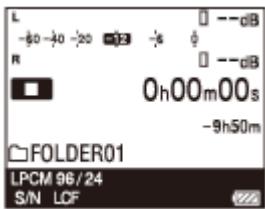
1 リニアPCMレコーダーの内蔵マイクの向きや本体の向きを調整し、設置する。

2 リニアPCMレコーダーのINPUTスイッチを、「MIC/LINE」に合わせる。



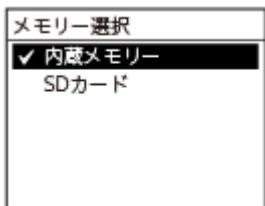
3 ホームメニュー - 「 録音」を選び、▶ボタンを押して決定する。

録音停止画面が表示されます。



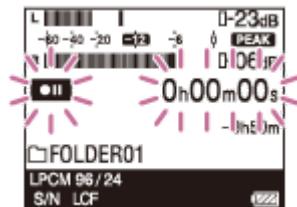
4 録音を保存したいメモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）とフォルダを選ぶ。

SDカードに録音したい場合は、メモリーの切り替えが必要です。録音停止中にオプションメニュー「録音先フォルダ」を選び、「メモリー選択」で「SDカード」を選択してから録音を始めてください。



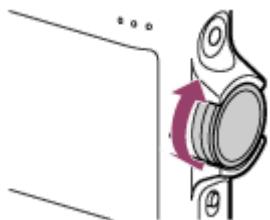
5 ● RECボタンを押す。

録音スタンバイ状態になり、表示窓の **REC** と経過時間表示が点滅します。

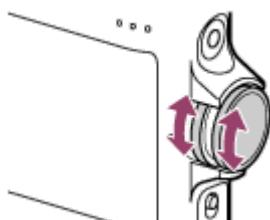


6 REC LEVELダイヤルを前後に回し、表示窓のピークレベルメーターを見ながら、録音レベルを調節する。

ダイヤルを回すと、左右両方のチャンネルの録音レベルが同期して調整されます。

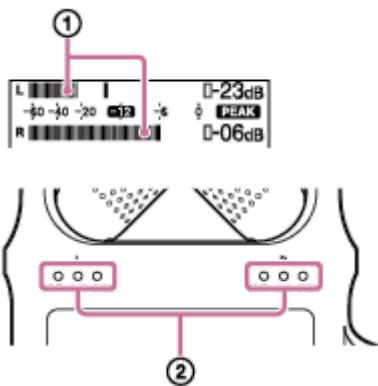


左右のチャンネルの録音レベルのバランスを変えたい場合は、外側のダイヤルを引っ張り、内側のダイヤルと離してください。外側のダイヤルで右のチャンネル、内側のダイヤルで左のチャンネルの録音レベルを調節できます。



録音中は録音レベルがピークレベルメーター（①）に表示されます。

録音レベルは、表示窓のピークレベルメーターと、ピークレベルランプ（②）の両方で確認できます。録音レベルは-12dBを目安に、音源に合った適切な範囲で調整してください。



7 録音を開始するには、■REC PAUSEボタン（または▶ボタン）を押す。

録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。

録音中は、表示窓にRECが点灯します。

8 録音を止めるには、■STOPボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

ご注意

- 内蔵マイクの向きがX-Yポジションの場合、REC LEVELダイヤルの外側のダイヤルを回すと左のチャンネル、内側のダイヤルを回すと右のチャンネルの録音レベルが調節されます。
- 録音中や録音一時停止中は、電池やUSB ACアダプターを外したり、SDカードを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

ヒント

- オプションメニューから録音モードを変更することもできます。録音停止中にOPTIONボタンを押してオプションメニューを表示し、「録音モード」を選んでお好みの録音モードを設定してください。お買い上げ時は、LPCM 44.1 kHz/16 bitに設定されています。
- 再生中やメニューを表示中でも、●RECボタンを押すと録音を開始できます。
- 停止状態のまましばらく操作しないと、画面が消灯し、低消費電力モードになります。ただし、電力は少量でも消費されていますので、お使いにならない場合は電源をお切りください。
録音一時停止状態のときは、低消費電力モードになりません。
- 録音中に、リニアPCMレコーダーにパソコンを接続しないでください。接続すると、パソコンとの通信を優先するため、録音が停止します。
- ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの（例：191010_1010.wav）がファイル名となります。
- 録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超える場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。
1ファイル最大録音可能時間は、「**最大録音時間**」をご覧ください。
- 録音中に■REC PAUSEボタンを押すと、録音一時停止状態となります。
不要な音声データを録音することなく録音レベルを調整するときに便利です。
録音を再開するときは、必ずもう一度■REC PAUSEボタンを押してください。

関連項目

- [録音時の設置のしかた](#)
- [内蔵マイクの向きと感度を調整する](#)

- いろいろな録音操作
- 電源を入れる
- ホールドを解除する
- ファイルを選ぶ
- 録音レベルのピークレベルランプについて

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

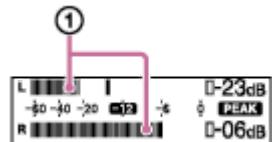
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音レベルのピークメーター表示について

録音中は、録音レベルがピークレベルメーター（①）に表示され、最大ピーク値が表示されます。

最大ピーク値に **OVER** と表示されると、ひずみが発生する場合があります。

打楽器などの立ち上がりの早い音は、ピークレベルメーターでレベルを確認してください。



図のように、録音中の入力レベルが、ピークレベルメーターの-12 dB付近になるように、内蔵マイクの方向や音源からの距離を調節したり、REC LEVELダイヤルで録音レベルを調節したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。

ヒント

- 入力レベルが小さいときは、音源の近くに移動したり、REC LEVELダイヤルで録音レベルを上げることをおすすめします。

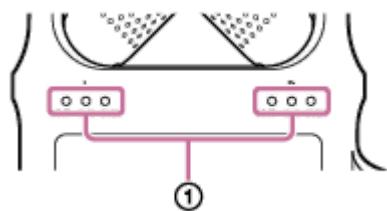
関連項目

- [内蔵マイクで録音する](#)
- [録音時の設置のしかた](#)
- [内蔵マイクの向きと感度を調整する](#)
- [録音レベルのピークレベルランプについて](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音レベルのピークレベルランプについて

録音中は、左右各チャンネルの入力信号のレベルに応じて、ピークレベルランプ（①）が点灯します。
-20dBランプが緑色に点灯しているとき（録音レベルが-20 dBのとき）、または-12dBランプが橙色に点灯しているとき（録音レベルが-12 dBのとき）は、ひずまない録音レベルです。
OVERランプが赤く点灯すると（録音レベルが-1 dB以上のとき）、ひずみが発生する場合があります。録音レベルを下げてください。



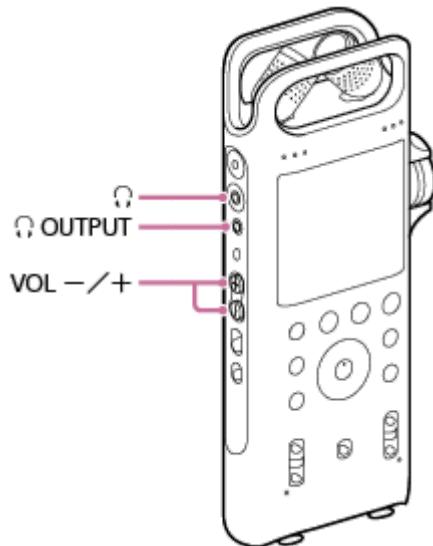
関連項目

- [内蔵マイクで録音する](#)
- [録音時の設置のしかた](#)
- [内蔵マイクの向きと感度を調整する](#)
- [録音レベルのピークメーター表示について](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音中の音を聞く（録音モニター）

録音の際は、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。別売のヘッドホンをΩ（ヘッドホン）ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。また、Ω OUTPUTボタンを押して、ヘッドホンに出力する音声を切り替えることもできます。



1 別売のヘッドホンをΩ（ヘッドホン）ジャックにつなぐ。

2 VOL（音量）ボタンを押して音量を調節する。

録音される音量に影響はありません。

3 ヘッドホンに出力する音声を切り替える場合は、Ω OUTPUTボタンを押す。

ボタンを押すたびに、出力する音声を以下のように切り替えることができます。

- STEREO：音声をステレオで出力します。
- L：左チャンネルの音声のみを出力します。ヘッドホンのL/R両方から、左チャンネルの音を聞くことができます。
- R：右チャンネルの音声のみを出力します。ヘッドホンのL/R両方から、右チャンネルの音を聞くことができます。

ご注意

- 録音モニター中に音量を上げすぎたり、ヘッドホンを本体に近づけすぎたりすると、ヘッドホンの音をマイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。
- 録音モニターには、音漏れの少ない密閉型ヘッドホンを使用することをおすすめします。
- Bluetooth機能で接続したヘッドホンでは、録音中の音を確認することができません。

関連項目

- 内蔵マイクで録音する

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

いろいろな録音操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

録音を一時停止する

■ REC PAUSEボタンを押す。

録音一時停止中は ■ REC PAUSEランプが赤く点滅し、  (録音一時停止) 表示が点滅します。

録音一時停止を解除する

もう一度 ■ REC PAUSEボタンを押す。

先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、 ■ STOPボタンを押します。）

今録音したばかりのファイルを聞く

録音停止中に ▶ ボタンを押す。

今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

ヒント

- 内蔵メモリーまたはSDカードの残量が録音途中でなくなった場合、自動的にもう一方のメモリーに切り替えて録音を続けることができます（クロスマメモリー録音）。

関連項目

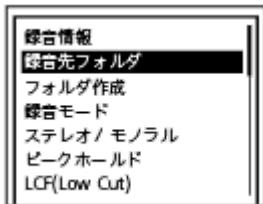
- [内蔵マイクで録音する](#)
- [メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスマメモリー機能）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音先メモリーとフォルダを変更する

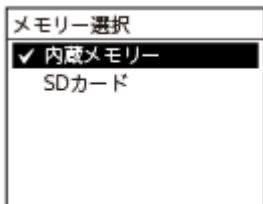
お買い上げ時には、通常録音の録音先フォルダが「内蔵メモリー」の「FOLDER01」に設定されています。以下の手順で、録音先メモリーとフォルダの設定を変更することができます。

- 1 録音停止中にオプションメニュー「録音先フォルダ」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「メモリー選択」画面が表示されます。

- 2 ▲または▼ボタンを押して「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、▶ボタンを押す。



選択したメモリー内にあるフォルダが表示されます。

- 3 ▲または▼ボタンを押してフォルダを選び、▶ボタンを押す。

ヒント

- 新規フォルダの作成方法については、「[フォルダを作成する](#)」をご覧ください。

関連項目

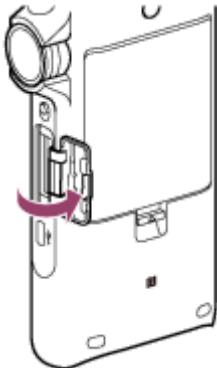
- [SDカードに録音する](#)
- [メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

SDカードに録音する

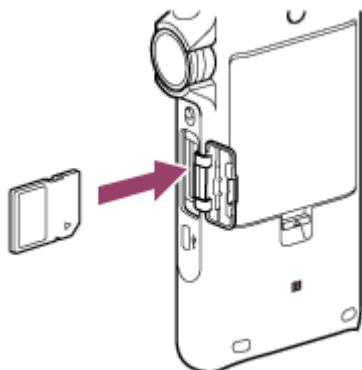
内蔵メモリーのほかに別売のSDカードへ音声を保存することができます。

- 停止中にSDカードスロットの蓋を開ける。



- SDカードをSDカードスロットにカチッと音がするまでしっかりと差し込む。

SDカードの端子面が本体表側になるように、図の方向に差し込んでください。



- スロット蓋を閉める。

表示窓に「しばらくお待ちください」と表示されて動作に必要な情報を読み込んだあと、「録音先フォルダをSDカードに変更しますか?」と表示されます。

- ◀◀または▶▶ボタンを押して「はい」を選び、▶ボタンを押して決定する。

- ▲または▼ボタンを押して保存したいフォルダを選び、▶ボタンを押して決定する。

新規フォルダを作成したいときは、「[フォルダを作成する](#)」をご覧ください。

- RECボタンを押して録音を開始する。

ご注意

- SDカードは、録音や再生、ファイルの編集などを行っていないときに差し込んでください。

- SDカードが認識されない場合はSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- SDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、SDカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、SDカードに保存されているデータをパソコンに保存し、リニアPCMレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください。SDカードを初期化する方法については、「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」をご覧ください。

ヒント

- SDカードを取り出すには、表示窓に「しばらくお待ちください」と表示されていないことを確認して、SDカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、SDカードスロットから取り出します。

関連項目

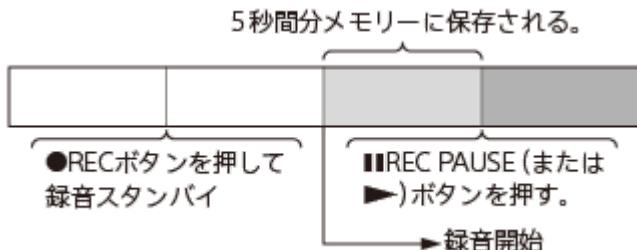
- [フォルダとファイルの構成](#)
- [リニアPCMレコーダーで使用できるSDカード](#)
- [録音先メモリーとフォルダを変更する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

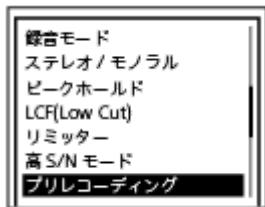
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

少し前から録音する（プリレコーディング機能）

録音開始操作の約5秒前の音から録音を開始することができます。インタビューや野外録音など、急な録音機会を逃さたくない場合に便利です。



- 1 録音停止中にオプションメニュー「プリレコーディング」を選び、▶ボタンを押して決定する。

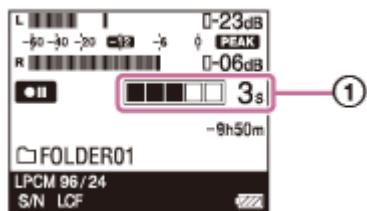


- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」を選び、▶ボタンを押す。

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

- 3 ●RECボタンを押す。

録音スタンバイ状態になり、表示窓に が点滅します。
プリレコーディングが開始され、最大5秒前の音声を蓄積していきます。
(①には蓄積した時間が表示されます。)



- 4 録音を始めるには、■REC PAUSEボタン（または▶ボタン）を押す。

録音スタンバイが解除され、手順3で蓄積した音声から継続して録音を開始します。

- 5 録音を止めるには、■STOPボタンを押す。

ご注意

- 内蔵マイクを使ってプリレコーディングをしようとするとき、■REC PAUSEボタンを押すときに雑音が入る場合があります。プリレコーディングをする場合は外部マイクを使うか、REC Remoteを使って録音することをおすすめします。
- 録音を開始せずにプリレコーディングを停止した場合、プリレコーディング時にメモリーに蓄積された音声は保存されません。

ヒント

- プリレコーディング機能を解除するには、手順2で「プリレコーディング」を「オフ」にします。

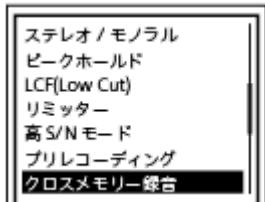
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスメモリー機能）

内蔵メモリーまたはSDカードの残量が録音途中でなくなった場合でも、自動的にもう一方のメモリーに切り替えて録音を続けることができます。（クロスメモリー録音）

- 1 録音停止中に、オプションメニュー--「クロスメモリー録音」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

録音中にメモリーがいっぱいになると、表示窓に「メモリーを切り替えて録音を継続します」というメッセージが表示され、クロスメモリー用の「CROSS_MEM」フォルダに、新しいファイルとして続いて録音されます。新しいファイルは、新しいファイル名で作成されます。

ご注意

- 切り替え先のメモリーもいっぱいに録音できないときは、メッセージが表示され、録音が停止します。
- 録音中にSDカードをリニアPCMレコーダーに挿入しても、クロスメモリー録音は行われません。
- クロスメモリー録音で録音した場合、メモリー切り替え後の音声の一部で音切れする場合があります。
- 長時間録音する場合は、リニアPCMレコーダーにUSB ACアダプターをつないで使用してください。

ヒント

- 通常の録音に戻すには手順2で「オフ」を選びます。
- クロスメモリー録音で録音されたファイルを再生するときは、ファイルの検索方法で「録音日で探す」を選択してください。ファイルが並んで表示されるため、続けて再生することができます。

関連項目

- [SDカードに録音する](#)

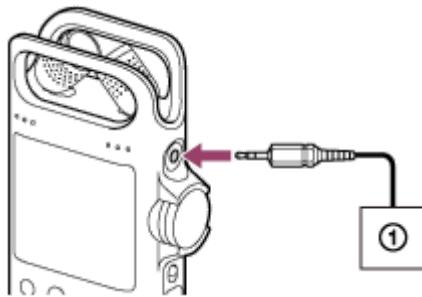
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

外部マイクをMIC IN/LINE INジャックに接続して録音する

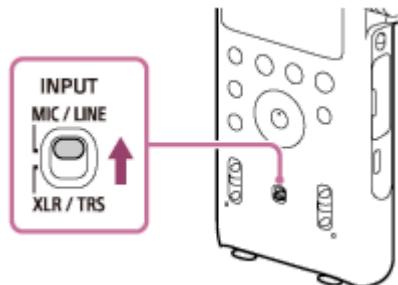
市販の外部マイクをリニアPCMレコーダーのMIC IN/LINE INジャックに接続して録音します。

1 外部マイク（①）をリニアPCMレコーダーのMIC IN/LINE INジャックに接続する。

マイクの設置位置を調節します。マイクの特性については、マイクに付属の取扱説明書をご覧ください。



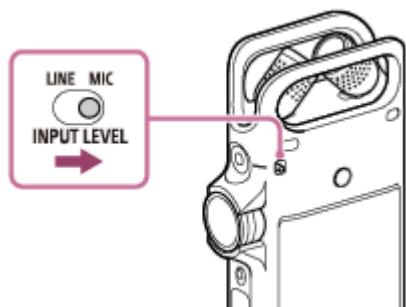
2 INPUTスイッチを「MIC/LINE」の位置に合わせる。



3 MIC/LINE INPUT LEVELスイッチを「MIC」の位置に合わせる。

「プラグインパワー」設定画面が表示されます。

プラグインパワー対応のマイクをご使用の場合は、「オン」を選ぶとリニアPCMレコーダーからマイクに電源が供給されます。「オフ」を選んだ場合は、プラグインパワー機能は働きません。



4 「内蔵マイクで録音する」の手順3から手順7を行い、録音を始める。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

ご注意

- MIC IN/LINE INジャックに外部マイクを接続しているときは、内蔵マイクでの録音はできません。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

外部マイクをXLR/TRSジャックに接続して録音する

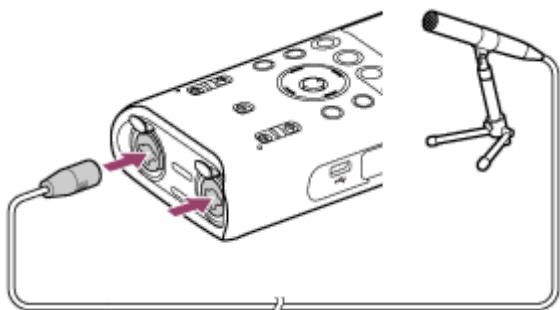
市販の外部マイクをリニアPCMレコーダーのXLR/TRSジャックに接続して録音します。

- 1 ファンタム電源スイッチを「OFF」の位置に合わせる。

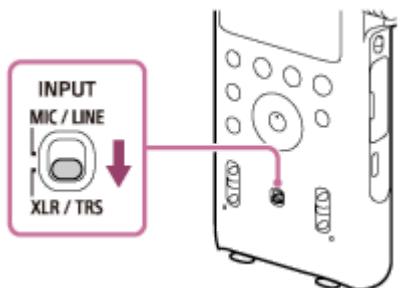
- 2 外部マイクをリニアPCMレコーダーのXLR/TRSジャックに接続する。

ステレオで録音する場合は、L/R両方のXLR/TRSジャックに接続し、モノラルで録音する場合は、L側のXLR/TRSジャックに接続してください。

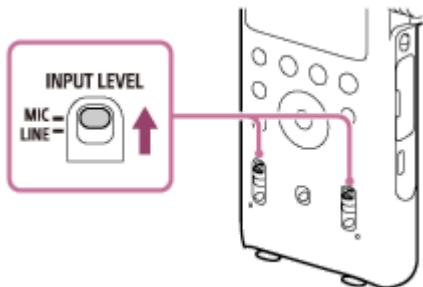
マイクの設置位置を調節します。マイクの特性については、マイクに付属の取扱説明書をご覧ください。



- 3 INPUTスイッチを「XLR/TRS」の位置に合わせる。



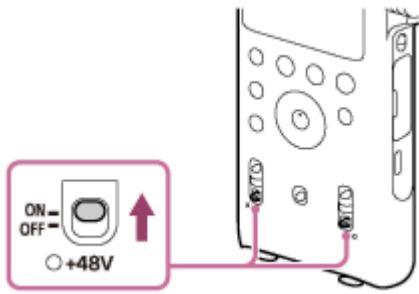
- 4 XLR/TRS INPUT LEVELスイッチを「MIC」の位置に合わせる。



L/R両方のXLR/TRSジャックに外部マイクを接続した場合は、左右のスイッチを切り替えてください。

- 5 ファンタム電源対応の外部マイクを使用する場合は、ファンタム電源スイッチを「ON」の位置に合わせる。

接続した外部マイクに電源が供給されます。



6 「内蔵マイクで録音する」の手順3から7を行い、録音を始める。

7 モノラルで録音する場合は、録音停止中にOPTIONボタンを押してオプションメニューを表示し、「ステレオ/モノラル」 - 「モノラル(L)」を選び、▶ボタンを押す。

ご注意

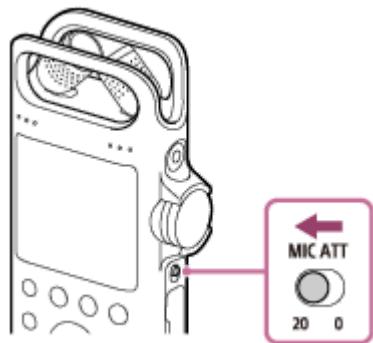
- XLR/TRSジャックに機器を接続している場合、左右いずれかまたは両方のXLR/TRS INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、リミッター機能とLCF(Low Cut)機能が働きません。
- 外部マイクや外部機器の取り付け／取り外しを行うときは、必ずファンタム電源スイッチを「OFF」の位置に合わせてください。「ON」のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、外部機器が故障したりする可能性があります。
- ファンタム電源スイッチを「ON」の位置に合わせていると、リニアPCMレコーダーの電池の消費が大きくなります。ファンタム電源スイッチを「ON」にして使用する場合は、USB ACアダプターにつなぐことをおすすめします。ファンタム電源対応の外部マイクを使用しない場合は、ファンタム電源スイッチを「OFF」の位置に合わせてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

マイクの音量を瞬時に下げる（マイクアッテネート）

内蔵マイクや外部マイクの入力レベルが大きいときは、MIC ATTスイッチを「20」の位置に合わせてください。入力レベルを約20 dB下げることができます。

- 1 外部マイクを接続して録音する場合は、お使いの機器に合わせてINPUTスイッチを切り替える。
MIC IN/LINE INジャックに接続する場合は「MIC/LINE」、XLR/TRSジャックに接続する場合は「XLR/TRS」の位置に合わせてください。
- 2 MIC/LINE INPUT LEVELスイッチまたはXLR/TRS INPUT LEVELスイッチを「MIC」の位置に合わせる。
- 3 MIC ATTスイッチを「20」の位置に合わせる。



関連項目

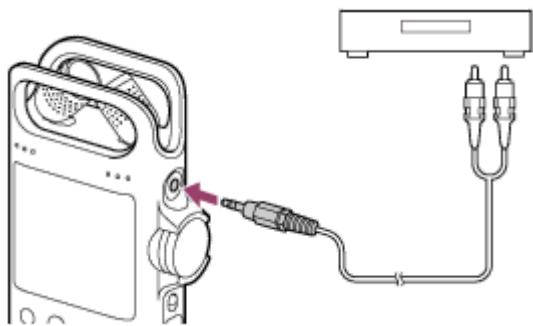
- 外部マイクをMIC IN/LINE INジャックに接続して録音する
- 外部マイクをXLR/TRSジャックに接続して録音する

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

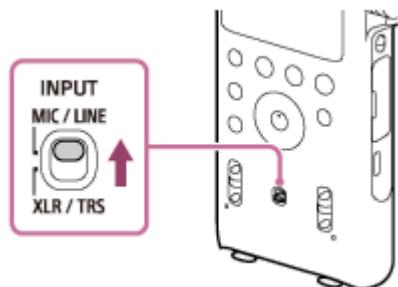
MIC IN/LINE INジャックに接続した外部機器からLINE入力で録音する

CDプレーヤー、MDプレーヤー、DATレコーダーなどの外部機器で再生した音源を録音します。

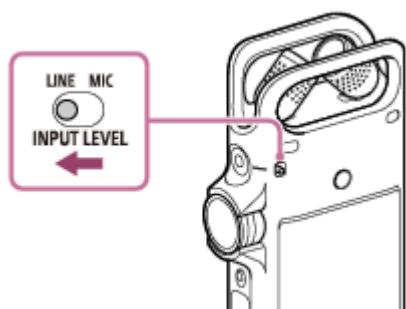
- 1 外部機器の音声出力端子とリニアPCMレコーダーのMIC IN/LINE INジャックを、市販の音声ケーブルを使って接続する。



- 2 INPUTスイッチを「MIC/LINE」の位置に合わせる。



- 3 MIC/LINE INPUT LEVELスイッチを「LINE」に合わせる。



- 4 「内蔵マイクで録音する」の手順3から6を行う。

- 5 外部機器の再生を始める。

- 6 録音を開始したいところで、REC PAUSEボタン（または▶ボタン）を押す。

録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。

ご注意

- MIC IN/LINE INジャックに外部機器を接続してLINE入力で録音するときは、リミッター機能とLCF(Low Cut)機能が働きません。

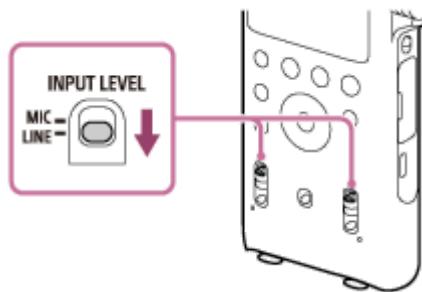
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

XLR/TRSジャックに接続した外部機器からLINE入力で録音する

XLR/TRSジャックに外部機器を接続して、LINEで入力した音声を録音します。

- 1 外部機器の音声出力端子とリニアPCMレコーダーのXLR/TRSジャックを、市販の音声ケーブルを使って接続する。
- 2 INPUTスイッチを「XLR/TRS」の位置に合わせる。
- 3 XLR/TRS INPUT LEVELスイッチを「LINE」の位置に合わせる。



- 4 「内蔵マイクで録音する」の手順3から6を行う。
- 5 外部機器の再生を始める。
- 6 録音を開始したいところで、REC PAUSEボタン（または▶ボタン）を押す。

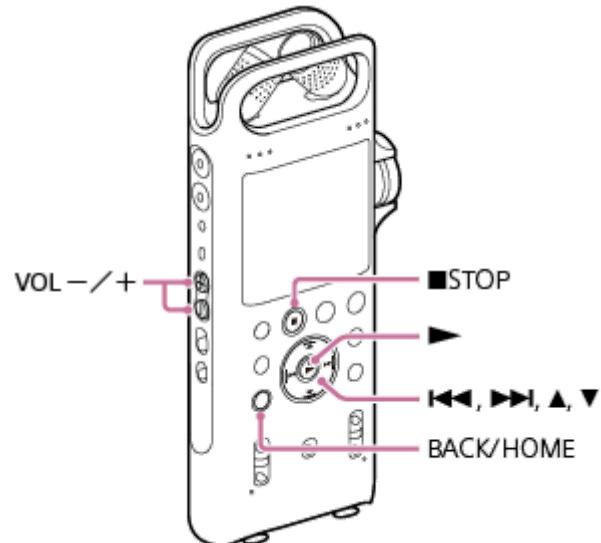
録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを再生する

リニアPCMレコーダーに別売のヘッドホンまたはイヤホンを接続し、ホームメニューからファイルを選んで再生します。



- 1 別売のヘッドホンまたはイヤホンをリニアPCMレコーダーの (ヘッドホン) ジャックに接続する。



- 2 ホームメニューで「 ミュージック」または「 録音したファイル」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 ファイルを検索して選ぶ。
ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。
- 4 ▶ボタンを押す。
再生が始まります。
- 5 VOL (音量) ボタンを押して、音量を調節する。

内蔵スピーカーで聞くには

ファイルを再生して、リニアPCMレコーダーの内蔵スピーカーで聞くには、ヘッドホンまたはイヤホンを接続しない状態で、手順2~5を行ってください。

また、ヘッドホンを接続していない状態でも、以下の場合は内蔵スピーカーから音が出ません。

- LINE OUTジャックに外部機器を接続している場合

- オーディオ機器とBluetooth接続している場合

内蔵スピーカーで聞くには、外部機器を取り外したり、Bluetooth接続を切断したりしてください。

ヒント

- 再生を止めるには、■STOPボタンを押してください。
- 録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押すと、録音したファイルを再生できます。

関連項目

- [いろいろな再生操作](#)
- [パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを選ぶ

ホームメニューから再生、編集するファイルを選ぶことができます。

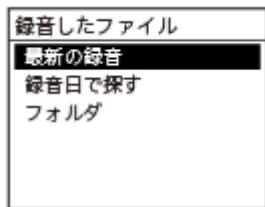
1 ホームメニューで「ミュージック」または「録音したファイル」を選び、▶ボタンを押す。

2 ファイルの検索方法を選ぶ。

▲または▼ボタンを押してファイルを検索する方法を以下から選び、▶ボタンを押します。

 ミュージック：「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」

 録音したファイル：「最新の録音」、「録音日で探す」または「フォルダ」



検索方法で「フォルダ」を選んだ場合は、「メモリー選択」画面が表示されるので、ファイルの保存先のメモリーを「内蔵メモリー」または「SDカード」から選んでください。

別のソニー製ICレコーダーまたはリニアPCMレコーダーで録音したSDカードを挿入した場合、「SDカード(他機種)」が表示されます。

3 検索結果からリストまたはフォルダを選び、ファイルを選ぶ。

▲または▼ボタンを押してリストまたはフォルダを選び、ファイルを選びます。

ヒント

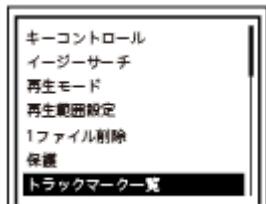
- 再生停止画面が表示されているときは、◀◀ または ▶▶ ボタンを押してファイルを切り替えられます。
- お買い上げ時、「録音したファイル」には「FOLDER01」のフォルダが作成されています。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー「トラックマーク一覧」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して目的のトラックマークを選び、▶ボタンを押す。

選択したトラックマークの位置からファイルが再生されます。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

いろいろな再生操作

再生中には次のような操作を行うことができます。

再生の途中、その位置で停止する

- STOPボタンを押す。
- ▶ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

- ◀◀ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、前のトラックマークの位置まで戻ります。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

- ◀◀ボタンを短く何回か押す。

次のファイルに進む

- ▶▶ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、後のトラックマークの位置まで進みます。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

さらに次のファイルに進む

- ▶▶ボタンを短く何回か押す。

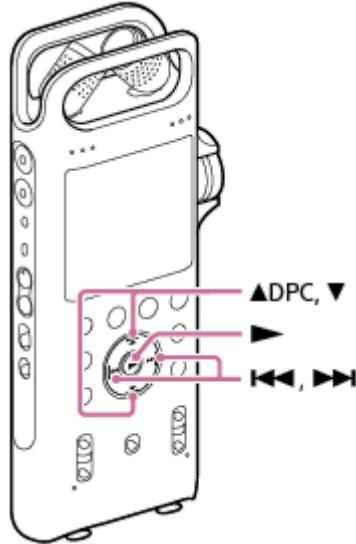
関連項目

- [トラックマークを付ける](#)
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

再生速度を調節する – DPC (Digital Pitch Control)

再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。



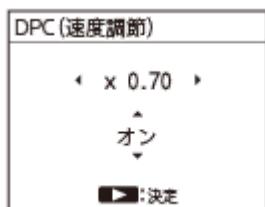
1 再生停止中／再生中に ▲ DPC (速度調節) ボタンを押す。

DPC設定画面が表示されます。

2 ▲または▼ボタンで「オン」を選び、▶◀または▶▶ボタンで速度を選ぶ。

×0.25～×1.00倍速の間は、0.05倍速刻みで、×1.00～×3.00倍速の間は、0.10倍速刻みで調節することができます。

お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。



3 ▶ボタンを押して、再生速度を決定する。

ヒント

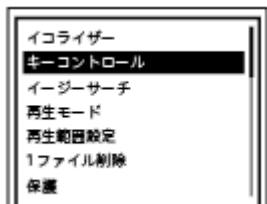
- 通常の再生速度に戻すには、手順2で「オフ」を選びます。
- 選択できる再生速度は以下のとおりです。
 - 1.00倍速～0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC
 - 2.00倍速～0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz未満のFLAC、サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM
 - 3.00倍速～0.25倍速：上記以外

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

音程を調節する（キーコントロール）

音楽ファイルや録音したファイルの再生速度を変えずに、音程（キー）を変更できます。

- 1 再生停止中／再生中にオプションメニュー「キーコントロール」を選び、▶ボタンを押して決定する。

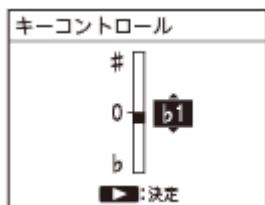


- 2 ▲または▼ボタンを押して、音程を調節する。

半音ずつ上げる（♯1～♯6）

半音ずつ下げる（♭1～♭6）

お買い上げ時は「0」に設定されています。



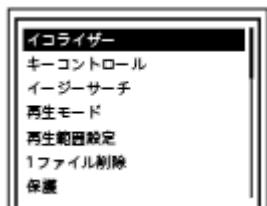
- 3 ▶を押して音程を決定する。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

音質を切り替える（イコライザー）

再生音をお好みの音質に設定できます。

- 1 再生停止中／再生中にオプションメニュー – 「イコライザー」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して音質を選び、▶ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

イコライザー機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

オン：

イコライザー機能を有効にします。

カスタム：

5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

◀◀または▶▶ボタンで100 Hz、300 Hz、1 kHz、3 kHzまたは10 kHzの周波数帯のレベルを選び、▲または▼ボタンでレベルを調節します。

–3～+3の7段階に設定できます。

ご注意

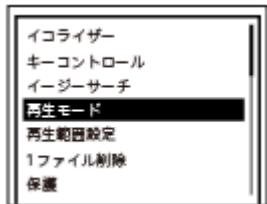
- 内蔵スピーカー、Bluetoothオーディオ機器またはLINE OUTジャックに接続した外部機器から再生しているときは、イコライザー機能は働きません。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー – 「再生モード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して再生モードを選び、▶ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ノーマル：

再生範囲のファイルを順に再生する（お買い上げ時の設定）。

⌚ リピート：

再生範囲のファイルを順に繰り返し再生する。

1 1ファイル再生：

再生中または再生を始めたファイルだけを再生する。

⌚1 1ファイルリピート：

再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生する。

⌚ シャッフル：

再生範囲の曲を順不同に再生する。

⌚⌚ シャッフルリピート：

再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生する。

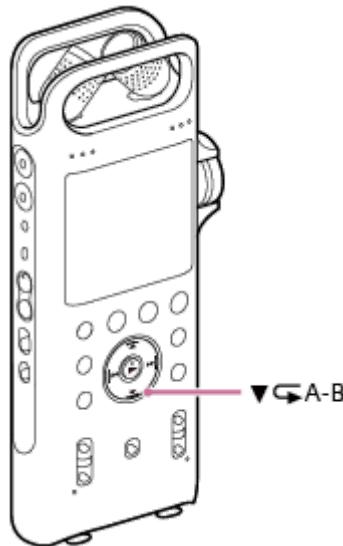
関連項目

- 必要な部分だけを再生する – A-Bリピート
- 1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

必要な部分だけを再生する－A-Bリピート

指定したA点とB点の区間を繰り返して再生することができます。



① 再生停止中／再生中に ▼ ↵ A-Bボタンを押して、A点を指定する。

「A-Bリピート終了点設定」が表示されます。

② もう一度 ▼ ↵ A-Bボタンを押して、B点を指定する。

「A-Bリピート終了」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

ご注意

- 再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。
- A-Bリピート再生中、長押しリピート再生機能は使用できません。

ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、▼ ↵ A-Bボタンをもう一度押します。
- A-Bリピートの範囲を変えるには、通常の再生に戻したあとに、もう一度手順1と2を行ってください。

関連項目

- [再生モードを変える](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）

簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。

① 再生中に ▶ ボタンを長押しする。

「 1」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

ご注意

- A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

ヒント

- 長押しリピート再生機能を解除するには、▶ボタンまたは■STOPボタンを押します。
- 再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。

関連項目

- [必要な部分だけを再生する – A-Bリピート](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

再生範囲を指定する

ファイルの再生リストの中から再生する範囲を指定できます。選択したファイルやミュージックの検索方法によって、再生する範囲は変わります。

1 ホームメニューで「□ 録音したファイル」または「♪ ミュージック」を選び、▶ボタンを押す。

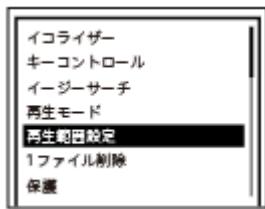
2 ファイルを検索して選ぶ。

ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。

3 ▶ボタンを押す。

再生が始まります。

4 再生停止中／再生中にオプションメニュー – 「再生範囲設定」を選び、▶ボタンを押す。



5 ▲または▼ボタンを押して、「全範囲を再生」または「□ 選択範囲内を再生」を選び、▶ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

全範囲を再生 :

録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。

□ 選択範囲内を再生 :

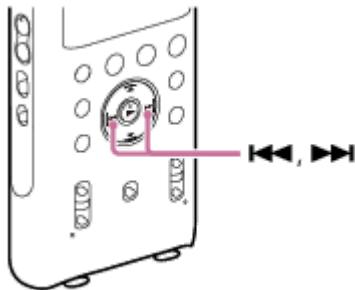
再生中のファイルを含むフォルダ（録音日、アーティスト、アルバムなど）の中のファイルを再生します。

選択範囲内を再生すると、再生画面にフォルダアイコンが表示されます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

早送り／早戻しする（キュー／レビュー）

再生停止中／再生中に早送りや早戻しをして聞きたい場所を探します。



- 早送り（キュー）：
再生停止中／再生中に ▶▶ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
再生停止中／再生中に ▶◀ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しづつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

関連項目

- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

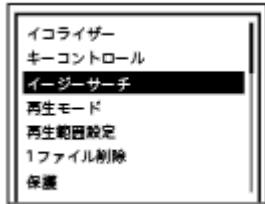
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したものでも、聞きたいところをすばやく探すことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー - 「イージーサーチ」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」を選び、間隔を設定したいときは「間隔設定」を選んで▶ボタンを押す。
- 3 「間隔設定」を選んだ場合は、早送り、早戻しの間隔を設定する。
▲または▼ボタンを押して「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ボタンを押してください。
同じ操作を繰り返し、早戻し／早送りの間隔（時間）を選び、▶ボタンを押してください。
- 4 ▲または▼ボタンで「オン」を選び、▶ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

イージーサーチ機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

オン：

再生中、▶▶ボタンを押すと、設定した間隔進み、◀◀ボタンを押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

間隔設定：

- イージーサーチ送り: ▶▶ボタンを押したときに進む間隔を、5秒、10秒（お買い上げ時の設定）、30秒、1分、5分、10分から選びます。
- イージーサーチ戻し: ▶▶ボタンを押したときに戻る間隔を、1秒、3秒（お買い上げ時の設定）、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

関連項目

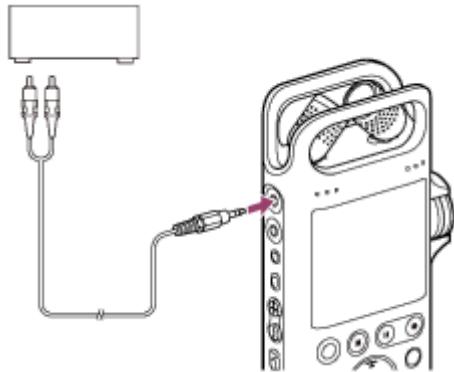
- [早送り／早戻しする（キューノ／レビュー）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

外部機器に接続して再生する

録音したファイルを外部機器のスピーカーで再生します。

- 1 外部機器の音声入力端子とリニアPCMレコーダーのLINE OUTジャックを、市販の音声ケーブルを使って接続する。



- 2 ホームメニューで「♫ミュージック」または「□録音したファイル」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 ファイルを検索して選ぶ。
ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。
- 4 ▶ボタンを押す。
再生が始まります。

ご注意

- LINE OUTジャックに音声ケーブルを接続して音声を出力しているときは、イコライザー機能が働きません。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetoothオーディオ機器と接続してできること

BLUETOOTH®オーディオ機器とリニアPCMレコーダーを接続して、再生時の音声をワイヤレスで聞くことができます。

また、Bluetooth接続することで、以下の操作がワイヤレスで可能になります。

- Bluetoothオーディオ機器からリニアPCMレコーダーの操作（再生／停止／早戻し／早送りなど）
- リニアPCMレコーダーからBluetoothオーディオ機器の音量調整

ご注意

- 録音中の音は、Bluetoothオーディオ機器からは聞くことができません。本体の \square (ヘッドホン) ジャックに接続したヘッドホンから聞いてください。
- LINE OUTジャックに外部機器を接続している場合、接続したBluetoothオーディオ機器から同時に音声を出力することはできません。LINE OUTジャックに接続した外部機器への出力音声を確認する場合は、本体の \square (ヘッドホン) ジャックに接続したヘッドホンから聞いてください。
- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーはBluetoothプロファイルとして、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) と AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからリニアPCMレコーダーの基本操作を行うことができます。
- リニアPCMレコーダーのオートスタンバイ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも低消費電力モードに移行します。オートスタンバイ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する

Bluetoothオーディオ機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録し合う必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

① 接続するBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。

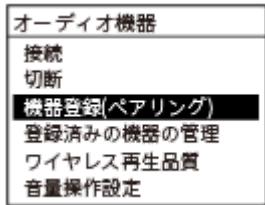
リニアPCMレコーダーを1 m以内に置いてください。

② 再生停止中に、ホームメニュー--「 Bluetooth」--「オーディオ機器」を選ぶ。



オーディオ機器のメニュー画面が表示されます。

③ 「機器登録（ペアリング）」を選ぶ。



Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか?」と表示されるので、「はい」を選び、▶ボタンを押します。

他のBluetoothオーディオ機器と接続中の場合は、「接続中のオーディオ機器を切断します。よろしいですか?」と表示されるので、「はい」を選んでください。

④ ▶ボタンを押して、Bluetoothオーディオ機器の検索を開始する。

ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。

⑤ ペアリングしたいBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

ペアリングが完了すると自動的に接続が行われ、「接続処理が完了しました」と表示されます。

⑥ リニアPCMレコーダーで再生する。

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

Bluetoothヘッドホンと、本体に接続しているヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、（ヘッドホン）ジャックに接続したヘッドホンからファイルの再生音は出ません。本体に接続しているヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

ご注意

- LINE OUTジャックに外部機器を接続している場合、接続したBluetoothオーディオ機器から同時に音声を出力することはできません。LINE OUTジャックに接続した外部機器への出力音声を確認する場合は、 (ヘッドホン) ジャックにヘッドホンをつないでください。
- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合。
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーはBluetoothプロファイルとして、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) と AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからリニアPCMレコーダーの基本操作を行うことができます。
- ペアリングの接続処理中にパスキー（*）の入力画面が表示されたら、接続するBluetoothオーディオ機器のパスキーを確認し、入力してください。
* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。リニアPCMレコーダーのパスキーは [0000] です。
Bluetoothオーディオ機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順1から行ってください。
- リニアPCMレコーダーのオートスタンバイ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも低消費電力モードに移行します。オートスタンバイ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器がNFC機能に対応している場合は、ワンタッチでリニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の機器登録（ペアリング）とBluetooth接続ができます。
- Bluetooth接続のオン／オフは、「 Bluetooth」 – 「Bluetoothオン／オフ」で切り替えることもできます。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)
- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する

リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器がすでに機器登録（ペアリング）されている場合、そのBluetoothオーディオ機器はリニアPCMレコーダーに登録されている状態となり、機器同士を簡単に接続できます。

- 1 必要に応じてBluetoothオーディオ機器のBluetooth機能をオンにする。
- 2 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「接続」を選ぶ。
登録済みのBluetoothオーディオ機器がリスト表示されます。
- 3 接続したいBluetoothオーディオ機器を選択する。
接続が行われ、「接続処理が完了しました」と表示されます。
- 4 リニアPCMレコーダーで再生する。
Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

機器の登録を削除するには

ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「登録済みの機器の管理」で、削除したいBluetoothオーディオ機器を選択した状態で、オプションメニュー - 「機器削除」を選びます。
その後、画面の指示に従って操作してください。機器登録（ペアリング）情報が削除されます。

Bluetoothヘッドホンと、本体に接続しているヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、 (ヘッドホン) ジャックに接続したヘッドホンからファイルの再生音は出ません。
本体に接続しているヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

ご注意

- LINE OUTジャックに外部機器を接続している場合、接続したBluetoothオーディオ機器から同時に音声を出力することはできません。LINE OUTジャックに接続した外部機器への出力音声を確認する場合は、 (ヘッドホン) ジャックにヘッドホンをつないでください。
- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合。
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーのオートスタンバイ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも低消費電力モードに移行します。オートスタンバイ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器がNFC機能に対応している場合は、ワンタッチでリニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の機器登録（ペアリング）とBluetooth接続ができます。
- Bluetooth接続のオン／オフは、「 Bluetooth」 – 「Bluetoothオン／オフ」で切り替えることもできます。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)
- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

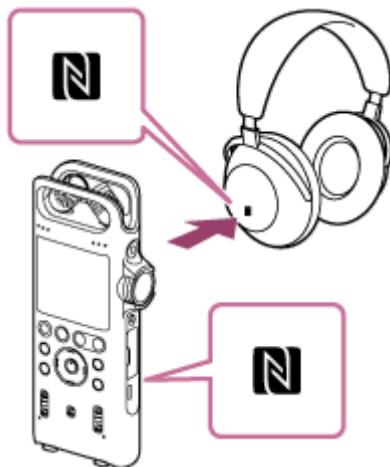
ワンタッチ接続（NFC接続）する

接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器にリニアPCMレコーダーをタッチするだけで、自動的に機器登録（ペアリング）とBluetooth接続が行われます。
NFCは近距離無線通信を行うための機能です。

1 Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチをオンにする。

2 リニアPCMレコーダーをBluetoothオーディオ機器にタッチする。

リニアPCMレコーダーの **N** マーク部分を、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分にタッチします。
リニアPCMレコーダーの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。



3 画面の指示に従って接続を完了する。

4 リニアPCMレコーダーで再生する。

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

NFC機能をオフにするには

お買い上げ時はNFC機能がオンになっています。NFC機能をオフにしたい場合は、ホームメニュー – 「**Bluetooth**」 – 「NFC設定」 – 「オフ」を選びます。

ご注意

- リニアPCMレコーダー背面の三脚取り付け用穴に市販のカメラ用三脚を取り付けると、**N** マーク部分が隠れてワンタッチ接続がしづらくなります。三脚をお使いの際は、あらかじめワンタッチ接続を行ってから取り付けてください。
- 録音操作中（録音中、録音一時停止中、録音スタンバイ中）は、ワンタッチ接続をすることできません。録音停止状態であることを確認してから、接続を行ってください。

ヒント

- 接続状態がよくない場合は、以下の調整を行ってください。
 - リニアPCMレコーダーを、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分の上でゆっくり動かす。

— NFC機能がオンになっているか確認する。ホームメニュー – 「 Bluetooth」 – 「NFC設定」 – 「オン」になっているか確認する。

関連項目

- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth機能の設定を変更する

このトピックには以下の情報が記載されています。

- Bluetoothストリーミングの再生品質を選択する。
- Bluetoothストリーミングの音量操作設定を変更する。

Bluetoothストリーミングの再生品質を選択する

Bluetoothストリーミングの再生品質を選べます。

1. 再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「ワイヤレス再生品質」を選ぶ。
2. 「接続優先」または「音質優先」の、どちらか希望の項目を選ぶ。

ご注意

- 「ワイヤレス再生品質」で変更した設定は、次回の接続時から有効になります。
- Bluetoothオーディオ機器の設定によっては、「ワイヤレス再生品質」の効果が得られないことがあります。

Bluetoothストリーミングの音量操作設定を変更する

接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。その場合は、下記の設定に変更して試してください。

1. 再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「音量操作設定」 - 「拡張方式」を選ぶ。

ご注意

- 「音量操作設定」で変更した設定は、次回の接続時から有効になります。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続を切断する

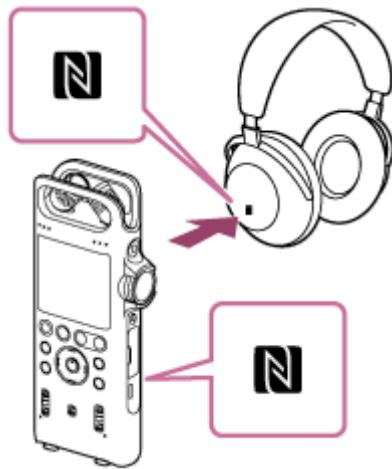
リニアPCMレコーダーの接続方法により、切断の方法が異なります。

「オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する」の手順で接続した場合

リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 – 「オーディオ機器」 – 「切断」を選びます。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

再度、Bluetoothオーディオ機器のマークとリニアPCMレコーダーのマークの位置を合わせてタッチします。



切断されると、リニアPCMレコーダーの画面に「切断しました」というメッセージが表示されます。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続を再接続する

リニアPCMレコーダーの接続方法により、再接続の方法が異なります。

「オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する」の手順で接続した場合

「機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する」と同じ操作を行います。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」と同じ操作を行います。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth情報を表示する

Bluetooth機能のバージョンやプロファイルなどの情報を表示します。

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで「 Bluetooth」 – 「Bluetooth情報」を選び、▶ボタンを押して決定する。



4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth機能についてのご注意

- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。Bluetooth機能の通信を最適化するために、以下の点にご注意ください。
 - リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器はできるだけ近くに置く（Bluetooth標準規格では10 mまでの距離）。
 - 接続したBluetoothオーディオ機器の方向にリニアPCMレコーダーのBluetoothアンテナ部分を向ける。
 - かばんやケースなど金属製の物でアンテナを覆わない。
 - 手など体の一部でアンテナを覆わない。
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて内蔵アンテナを覆わない。
 - 混雑した場所での使用を避ける。
 - 電波を発する機器の近くでの使用を避ける（電子レンジ、スマートフォン、携帯電話、通信機能のある携帯ゲーム機、無線LANなど）。
- Bluetooth無線技術の特性により、再生音がわずかに遅れことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。以下の場所ではリニアPCMレコーダーおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
 - 病院内
 - 電車内の優先席付近
 - 航空機内
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアの近く
 - 火災報知機の近く
- リニアPCMレコーダーはBluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。Bluetooth接続の結果情報の漏洩が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Bluetoothオーディオ機器が標準規格に適合していても、すべての接続と正確な動作を保証するものではありません。
 - 接続する機器によって、Bluetooth接続が完了するまでに時間がかかることがあります。
 - Bluetooth無線技術では約10mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
 - Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- リニアPCMレコーダーとBluetooth機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10m以上離れたところで行う。
- リニアPCMレコーダーとBluetooth機器ができるだけ近づける。
- 無線LANを搭載した機器から10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

REC Remoteでできること

REC Remoteをお使いのスマートフォンにインストールしてリニアPCMレコーダーとBluetooth接続すると、スマートフォンで以下の操作ができます。

- 録音開始／停止
- ピークホールド機能の設定
- トランクマークの追加
- 録音設定の変更



ご注意

- REC Remoteは録音専用のアプリです。再生などの操作および録音時のモニター音には対応していません。録音したファイルを再生する場合は、リニアPCMレコーダー本体を操作してください。
- スマートフォンに保存されている音楽ファイルを聞いたり、リニアPCMレコーダーへ転送したりすることはできません。
- リニアPCMレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth接続中でも、停止状態で一定時間無操作が続いた場合、リニアPCMレコーダーのオートスタンバイ機能が働きます。オートスタンバイ機能の設定を変更するには、ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートスタンバイ」を選択し、お好みの設定を選択してください。
- スマートフォンのBluetooth設定の方法については、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- [Bluetooth情報を表示する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

REC Remoteを準備する

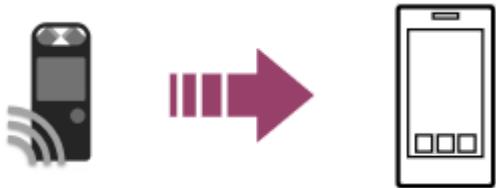
REC Remoteを使用するには、REC Remoteをスマートフォンにインストールする必要があります。

ご注意

- リニアPCMレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

1 Google PlayストアまたはApp Storeで「REC Remote」を検索する。

2 画面の指示に従って、スマートフォンにREC Remoteをインストールする。



インストール後、「ソフトウェア使用許諾契約書を確認してください」と表示されます。「上記内容を確認し、同意します」にチェックを入れて、「はじめる」をタップしてください。

3 スマートフォンとリニアPCMレコーダーの接続方法を選ぶ。

リニアPCMレコーダーと接続するスマートフォンに、NFC機能が搭載されているかを確認してください。搭載されている場合は、マークまたはマークがあります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

NFC機能の有無によって、リニアPCMレコーダーの接続方法が異なります。

- スマートフォンにNFC機能がない場合：
[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)をご覧ください。
- スマートフォンにNFC機能がある場合：
[ワントッチ接続（NFC接続）する](#)をご覧ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する

スマートフォンにNFC機能がない場合は、以下の手順でリニアPCMレコーダーとスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続します。

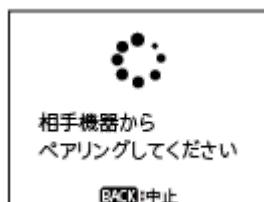
Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録（ペアリング）しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

1 リニアPCMレコーダーを操作する。

ホームメニュー – 「 Bluetooth」 – 「REC Remote」 – 「機器登録（ペアリング）」を選び、▶ボタンを押します。Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか？」と表示されるので、「はい」を選びます。



「相手機器からペアリングしてください」と表示されます。



2 スマートフォンを操作する。

● Android™の場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. REC Remoteを起動する。
3. 「機器登録」画面で「Bluetooth設定からペアリング」をタップし、画面に従って操作する。
4. Bluetooth設定画面で、PCM-D10を検索し、互いの機器をペアリングする。
5. 戻るボタンで、「機器登録」画面を表示し、PCM-D10を選択する。
6. 「登録完了」をタップする。

● iOSの場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. Bluetooth設定画面で、PCM-D10を検索し、互いの機器をペアリングする。
3. ホームボタンを押して、Bluetooth設定画面を終了し、REC Remoteを起動する。

REC Remoteの操作画面が表示されたら、接続は完了です。

「スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する」へ進んでください。

ご注意

- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、スマートフォンにリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。

ヒント

- Androidをお使いの場合、Bluetooth設定画面でPCM-D10が見つからない場合は、画面下部の「機器の検索」を選択して検索してください。
- Androidをお使いの場合、「ペア設定リクエスト」画面でパスコード確認のメッセージが表示されますが、そのまま「ペア設定する」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、初回の起動時には手順6で機器詳細画面が表示されます。機器名を変更する場合は「編集」を選択し、変更後に「登録完了」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、変更後の機器名は、REC Remoteアプリ内でのみ表示されます。お使いのスマートフォンのOS画面や、リニアPCMレコーダーの画面上には表示されません。
- Androidをお使いの場合、2台目以降のレコーダーとスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続するには、REC Remoteの操作画面で機器名をタップし、さらに画面下部の  (+マーク) をタップして手順3以降の操作をしてください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ワンタッチ接続（NFC接続）する

スマートフォンにNFC機能がある場合は、以下の手順でスマートフォンとリニアPCMレコーダーを接続します。

1 リニアPCMレコーダーの電源を入れる。

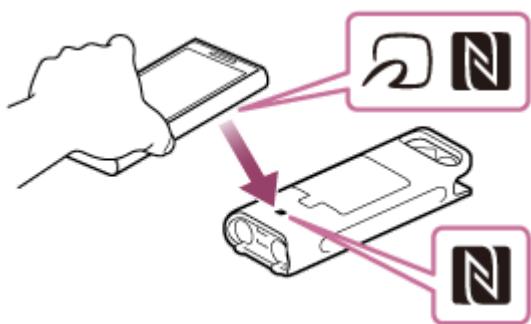
録音中、録音一時停止中、録音スタンバイ中はワンタッチ接続をすることできません。録音停止状態であることを確認してから、接続を行ってください。

2 スマートフォンのNFC機能をオンにする。

3 スマートフォンでREC Remoteを起動する。

4 スマートフォンのNマークまたはAマークとリニアPCMレコーダーのNマークの位置を合わせて、タッチする。

スマートフォンの画面に、「ペア設定リクエスト」画面が表示されるまでタッチし続けてください。画面が表示されたら、「ペア設定する」を選択してください。



REC Remoteの操作画面が表示されたら、接続は完了です。

[「スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する」へ進んでください。](#)

ヒント

- ペアリングの際、「ペア設定リクエスト」が「通知」に表示される場合があります。「通知」を表示して「ペア設定リクエスト」をタップし、「ペア設定する」を選択してください。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - スマートフォンをリニアPCMレコーダーのNマーク部分の上でゆっくり動かしてください。
 - スマートフォンにケースを付けていると、ペアリングできない場合があります。その場合は、ケースを外してください。
 - NFC機能がオンになっているか確認する。ホームメニュー - 「Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「オン」になっているか確認する。
 - それでも接続がうまくいかない場合には、[「スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する」](#)を試してください。

NFC機能とは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための機能です。指定の場所に「タッチするだけ」で、簡単にデータ通信ができます。

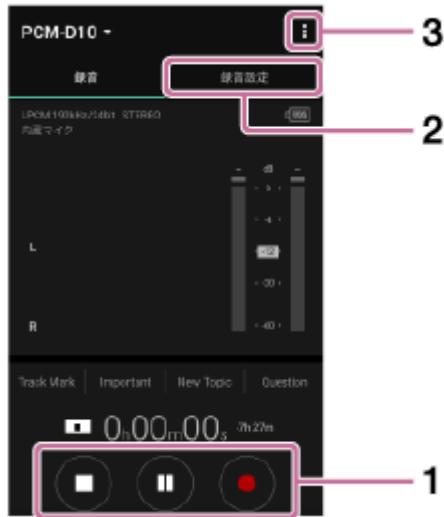
接続したいNFC機能搭載スマートフォンに、リニアPCMレコーダーをタッチするだけで、ペアリングとBluetooth接続が行われます。Bluetooth接続の解除や切り替えも同様です。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する

Bluetooth接続が完了すると、REC Remoteの画面が表示されます。



1. 録音操作ボタンで操作する。

● 録音スタンバイ、■ 録音開始／録音一時停止、■ 録音停止ができます。

録音停止状態から録音開始するには、●ボタンを押して録音スタンバイ状態にしてから、■ボタンを押してください。録音停止状態から、●ボタンを押さずに■ボタンを押しても録音開始しません。

2. 設定画面を表示する。

「録音設定」タブを選択すると、録音設定やREC Remoteの設定ができます。

3. ヘルプを見る。

画面右上の (メニュー) をタップすると、REC Remote のメニューが表示されます。メニュー内の「ヘルプ」をタップしてください。操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ご注意

- 本機は、REC Remoteから録音レベルの調整をすることができません。録音をするときは事前にためし録りを行い、リニアPCMレコーダー本体で録音レベルの調整をしてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続を切断する

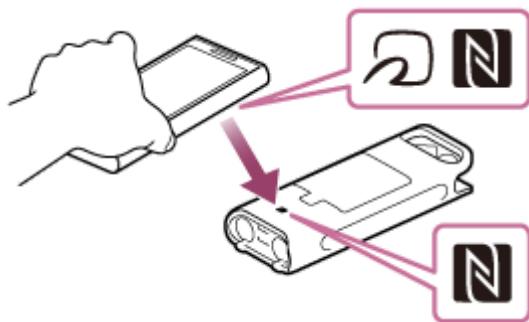
リニアPCMレコーダーの接続方法により、切断の方法が異なります。

「スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する」の手順で接続した場合

リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 – 「Bluetoothオン/オフ」 – 「オフ」を選びます。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

再度、スマートフォンのマークまたはマークとリニアPCMレコーダーのマークの位置を合わせてタッチします。



切断されると、リニアPCMレコーダーの画面に「切断しました」というメッセージが表示されます。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）

リニアPCMレコーダーの接続方法により、再接続の方法が異なります。

「スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する」の手順で接続した場合

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 – 「Bluetoothオン/オフ」 – 「オン」を選び、
▶ボタンを押す。
- 2 スマートフォンでREC Remoteを起動する。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」と同じ操作を行います。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）

以下の手順でスマートフォンとリニアPCMレコーダーを再接続します。

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 - 「Bluetoothオン/オフ」 - 「オン」を選び、
▶ボタンを押す。
- 2 iPhoneのBluetooth設定画面で、PCM-D10を選択する。
- 3 iPhoneでREC Remoteを起動する。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを削除する

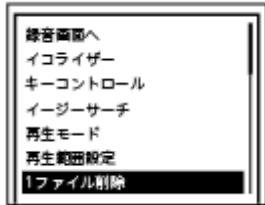
ファイルを選択して削除することができます。

ご注意

- 一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。

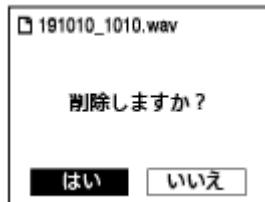
1 削除したいファイルを選ぶ。

2 オプションメニュー – 「1ファイル削除」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「削除しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

3◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、ファイルが削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。
- 1つのファイルの一部分だけ削除するには、ファイル分割で削除する部分としない部分に分け、削除したい部分のファイルを選んで手順2から手順3の操作をします。ファイルの分割について詳しくは、「[現在位置でファイルを分割する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

- フォルダを削除する

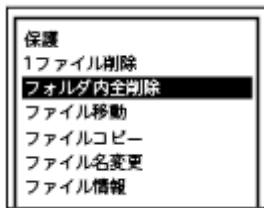
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する

選択したフォルダまたはリスト内のファイルをすべて削除します。

- 1 ホームメニューで「ミュージック」または「録音したファイル」を選び、▶ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ボタンを押して、ファイルを検索する方法を選び、▶ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ボタンを押して、削除したいファイルが入っているフォルダまたはリストを選び、▶ボタンを押す。
- 4 オプションメニュー – 「フォルダ内全削除」または「リスト内全削除」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」または「リスト内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。

- 5 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、フォルダまたはリスト内の全ファイルが削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

関連項目

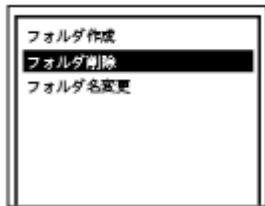
- [ファイルを削除する](#)
- [フォルダを削除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダを削除する

選択したフォルダを削除します。

- 1 ホームメニューで「♪ミュージック」または「□録音したファイル」を選び、▶ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ボタンを押して「フォルダ」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ボタンを押して、削除したいフォルダを選ぶ。
- 4 オプションメニュー「フォルダ削除」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「フォルダを削除しますか？」と表示されます。

- 5 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

フォルダが削除されます。

フォルダ内にファイルがあるときは、「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押すと、フォルダ内のファイルごとフォルダが削除されます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ご注意

- フォルダ内に保護設定されているファイルがあるときは、フォルダを削除できません。フォルダ内の保護されていないファイルのみが削除されます。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。
- 録音先フォルダを削除した場合は、「録音先フォルダを切り替えました」と表示され、お買い上げ時の設定である「FOLDER01」に録音先フォルダが切り替わります。
- 録音先フォルダが全て削除された場合は、「フォルダがありません。録音先フォルダを作成します。」と表示され、「FOLDER01」が自動的に作成されます。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

- フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する

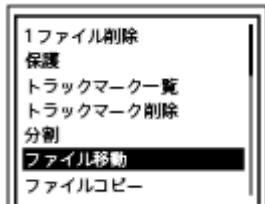
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを別のフォルダに移動する

選んだファイルをお好みのフォルダに移動できます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 再生または再生停止中にオプションメニュー - 「ファイル移動」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ボタンを押して「内蔵メモリーへ移動」または「SDカードへ移動」を選び、▶ボタンを押す。
- 4 ▲または▼ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、移動先フォルダにファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 音楽ファイルは、移動できません。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

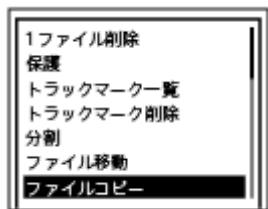
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを別のフォルダにコピーする

選んだファイルをお好みのフォルダにコピーできます。バックアップをとる場合などに便利です。

- 1 コピーしたいファイルを選ぶ。

- 2 再生または再生停止中にオプションメニュー - 「ファイルコピー」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ボタンを押して「内蔵メモリーへコピー」または「SDカードへコピー」を選び、▶ボタンを押す。

- 4 ▲または▼ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、コピー先フォルダにコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

ご注意

- 音楽ファイルは、コピーできません。

関連項目

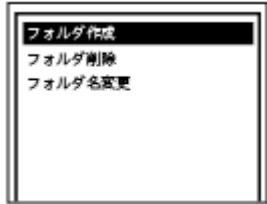
- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダを作成する

録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。

- 1 ホームメニューで「 録音したファイル」を選び、ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ボタンを押してファイルの検索方法で「フォルダ」を選び、ボタンを押す。
- 3 「フォルダ」画面で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、ボタンを押す。
- 4 オプションメニュー - 「フォルダ作成」を選び、ボタンを押す。



- 5 ▲または▼ボタンを押して、フォルダ名をテンプレートから選び、ボタンを押す。
フォルダが作成されます。

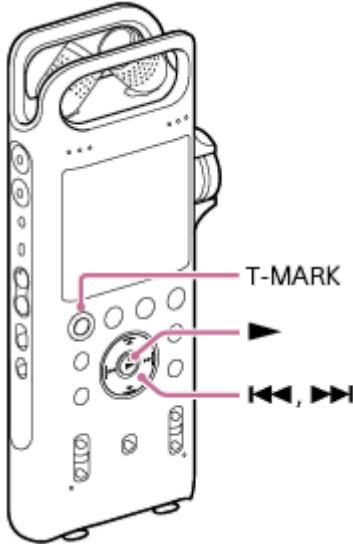
ご注意

- 「 ミュージック」には、フォルダを作成できません。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

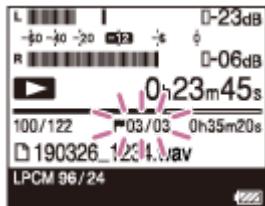
トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中、再生中、録音一時停止中または再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でT-MARKボタンを押す。

■ (トラックマーク) 表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- トラックマークを付けた位置を探して聞くには、再生停止中／再生中に◀◀または▶▶ボタンを押します。再生停止中の場合は、■ (トラックマーク) 表示が1回点滅してから▶ボタンを押すと再生されます。
- 録音中、再生中、録音一時停止中または再生停止中にホームメニューを表示していても、T-MARKボタンを押すとトラックマークを付けられます。
- スマートフォン用アプリ (REC Remote) を使うと、トラックマークを4種類の中から選んで付けることができます。

関連項目

- トラックマークを自動で付ける
- トラックマークを削除する

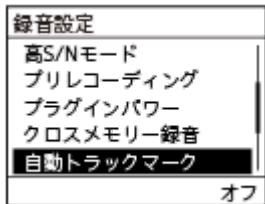
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

トラックマークを自動で付ける

通常録音中に、指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「録音設定」 - 「自動トラックマーク」を選び、▶ボタンを押す。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「間隔設定」を選び、▶ボタンを押す。

- 3 ▲または▼ボタンを押して間隔を選び、▶ボタンを押す。

「5分」、「10分」、「15分」、「30分」から選びます。
設定が「オン」になります。

- 4 ▲または▼ボタンを押して「時刻情報」を選び、「時刻情報を入れる」を有効にする。

自動トラックマークが付いたときの時刻の情報を、トラックマークに入れることができます。
長時間の録音をするときに設定しておくと、録音ファイルの再生時に、トラックマークが付けられた時刻から目的の位置を探すことができるため便利です。
トラックマークは、オプションメニューの「トラックマーク一覧」で確認することができます。

- 5 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ヒント

- 「自動トラックマーク」の設定を解除するには、手順2で「オフ」を選びます。
- 「自動トラックマーク」の設定を「オン」にしていても、録音中にT-MARKボタンを押すと、お好みの位置にトラックマークを付けられます。

関連項目

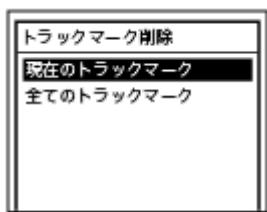
- [トラックマークを付ける](#)
- [トラックマークを削除する](#)
- [トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

トラックマークを削除する

現在位置のトラックマークを削除します。

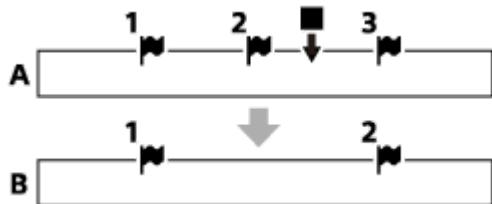
- 1 トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。
- 2 削除したいトラックマーク位置の後で再生を停止する。
- 3 オプションメニュー – 「トラックマーク削除」 – 「現在のトラックマーク」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「トラックマークを削除しますか？」と表示されます。

- 4 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、トラックマークが削除されます。



A. トラックマーク削除前：■ = 停止位置

B. トラックマーク削除後：停止位置の1つ前のトラックマークが削除される。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順4で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

関連項目

- ファイルを選ぶ
- すべてのトラックマークを削除する

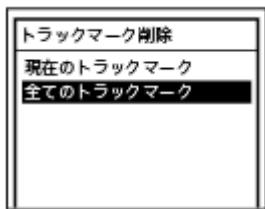
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

すべてのトラックマークを削除する

選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

- 1 トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションメニュー - 「トラックマーク削除」 - 「全てのトラックマーク」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て削除しますか?」と表示されます。

- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示され、すべてのトラックマークが一度に削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

関連項目

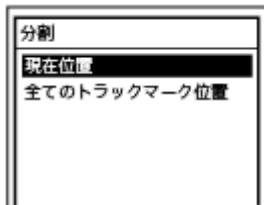
- [ファイルを選ぶ](#)
- [トラックマークを削除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

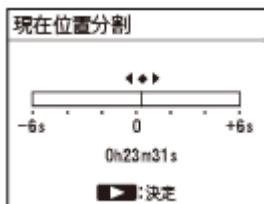
現在位置でファイルを分割する

停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になつたときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。

- 1 分割したいファイルを選び、分割したい位置で再生を停止する。
- 2 オプションメニュー – 「分割」 – 「現在位置」を選び、▶ボタンを押して決定する。



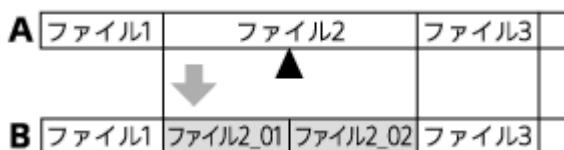
- 3 分割のプレビュー画面で分割位置を確認し、▶ボタンを押して決定する。



「現在の停止位置で分割しますか？」と表示されます。

- 4 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示されて、ファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



- A. 分割前：▲ = 分割位置
B. 分割後：分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- ファイルの再生中は、ファイルを分割できません。
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 以下の場合、分割操作はできません。
 - リニアPCMレコーダーで録音したファイル以外のファイル

- ファイルの開始／終了箇所から0.5秒未満の位置で操作する場合
 - フォルダ内の最大ファイル数に達した場合（表示窓に「ファイルが一杯です」と表示されます。）
 - 新しいファイル名が最大文字数を超える場合
 - 分割後のファイル名と同じ名前のファイルが同じフォルダにある場合
- ファイルの分割位置から前後0.5秒未満の位置にトラックマークが設定されているときは、トラックマークを削除してファイルを分割します。
 - BWF形式のファイルとしては、分割元と同じ日時情報が記録されます。
 - 現在位置がファイルの先頭や終端から近い位置にある場合は、分割できません。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順4で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。
- 本機では、分割したファイルをつなげることはできません。
「SOUND FORGE Audio Studio 12」を使うと、ファイルの分割、結合をすることができます。

関連項目

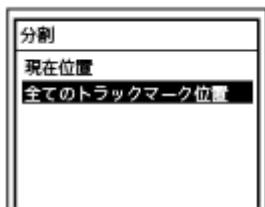
- [ファイルを選ぶ](#)
- [すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する

トラックマークのある位置でファイルを分割することができます。

- 1 分割したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー – 「分割」 – 「全てのトラックマーク位置」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマーク位置で分割しますか？」と表示されます。

- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置でファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



- A. 分割前 : ■ = トラックマーク位置
 B. 分割後 : トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- ファイルの再生中は、ファイルを分割できません。
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 以下の場合、分割操作はできません。
 - リニアPCMレコーダーで録音したファイル以外のファイル
 - ファイルの分割位置から前後0.5秒未満の位置にトラックマークが設定されているとき
 - フォルダ内の最大ファイル数に達した場合（表示窓に「ファイルが一杯です」と表示されます。）
 - 新しいファイル名が最大文字数を超える場合
 - 分割後のファイル名と同じ名前のファイルが同じフォルダにある場合
- BWF形式のファイルとしては、分割元と同じ日時情報が記録されます。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。
- ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [現在位置でファイルを分割する](#)

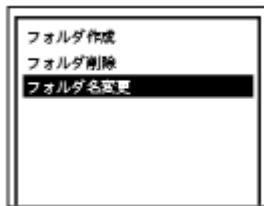
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダ名を変更する

リニアPCMレコーダーで録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 ホームメニュー - 「録音したファイル」を選び、▶ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼ボタンを押して、「フォルダ」を選ぶ。
- 3 「フォルダ」画面で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選ぶ。
- 4 ▲または▼ボタンを押して、名前を変更したいフォルダを選ぶ。
- 5 オプションメニュー - 「フォルダ名変更」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 6 ▲または▼ボタンを押して、お好みのフォルダ名を選び、▶ボタンを押す。



ご注意

- 「ミュージック」内のフォルダは、操作できません。

ヒント

- フォルダ名の末尾には、常に01～10の数字が付きます。同じフォルダ名を選んだときは、02～10の数字が付きます。
- パソコンを使用すると、フォルダ名やファイル名を任意のものに変更することもできます。

関連項目

● ファイル名を変更する

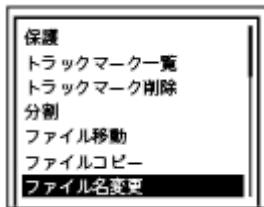
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

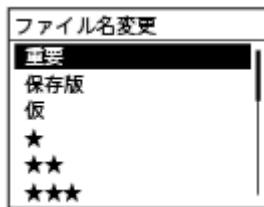
ファイル名を変更する

ホームメニューの「録音したファイル」内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。
追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 ファイル名を変更したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中に、オプションメニュー – 「ファイル名変更」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ボタンを押して、ファイル名の先頭に追加したい文字または記号を選び、▶ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、選択した文字または記号と「_」が、ファイル名の先頭に追加されます。

例（191010_1010.wav に「重要」を追加した場合）： 重要_191010_1010.wav

ご注意

- 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 「ミュージック」内のファイルは、操作できません。
- パソコンを使用すると、フォルダ名やファイル名を任意のものに変更することもできます。

関連項目

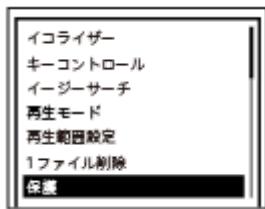
- [フォルダ名を変更する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って削除、編集することができないように保護することができます。保護されたファイルは、 (保護) マークが表示され、削除、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1 保護したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー – 「保護」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「しばらくお待ちください」と表示されたあと、「保護しました」と表示され、ファイルが保護されます。保護されたファイルは、再生画面で (保護) マークが表示されます。

ヒント

- 保護を解除するには、保護設定されたファイルを選び、手順2で「保護解除」を選びます。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

各種設定メニュー一覧

ホームメニューの「 各種設定」のメニュー一覧を紹介します。

録音設定

- 録音先フォルダ：
録音先メモリーとフォルダを変更する
- フォルダ作成：
フォルダを作成する
- 録音モード：
録音モードを選ぶ（録音モード）
- ステレオ/モノラル：
ステレオ録音/モノラル録音を設定する（ステレオ/モノラル）
- ピークホールド：
ピーク表示のリセット方法を設定する（ピークホールド）
- LCF(Low Cut)：
ノイズを軽減して録音する（LCF(Low Cut)）
- リミッター：
音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）
- 高S/Nモード：
高いS/N比で録音する（高S/Nモード）
- プリレコーディング：
少し前から録音する（プリレコーディング機能）
- プラグインパワー：
接続マイクの電源をリニアPCMレコーダーから供給する（プラグインパワー）
- クロスメモリー録音：
メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスメモリー機能）
- 自動トラックマーク：
トラックマークを自動で付ける

再生設定

- イコライザー：
音質を切り替える（イコライザー）
- キーコントロール：
音程を調節する（キーコントロール）
- イージーサーチ：
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）
- 再生モード：
再生モードを変える

- 再生範囲設定：
再生範囲を指定する

共通設定

- ランプ：
ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）
- バックライト：
バックライトの点灯、消灯を設定する（バックライト）
- 操作音：
操作音の設定をする（操作音）
- 言語設定(Language)：
表示言語を切り替える（言語設定（Language））
- 時計設定：
日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）
時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）
- オートスタンバイ：
低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する（オートスタンバイ）
- 電池設定：
使用する電池の種類を選ぶ（電池設定）
- カスタムキー設定：
カスタムキー（C1/C2）に機能を登録する（カスタムキー設定）
- 各種初期化：
メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）
メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）
- 録音可能時間：
録音可能時間を確認する（録音可能時間）
- 本体情報：
リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）

関連項目

- ホームメニューの使いかた

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音モードを選ぶ（録音モード）

録音するファイルの録音モード（音質など）を設定します。録音を始める前に設定してください。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音モード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して好みの録音モードを選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

LPCM 192kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 176.4kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 96kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 96kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 88.2kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 88.2kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 48kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 48kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 44.1kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 44.1kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音（お買い上げ時の設定）

MP3 320kbps :

ステレオ高音質録音

MP3 128kbps :

ステレオ長時間録音

ヒント

- LPCM (WAV) 形式で録音したファイルは、BWF (Broadcast Wave Format) に対応し、録音開始日時が記録されたファイルとなります。
- サンプリング周波数とは、アナログ信号からデジタル信号への変換（A/D変換）を1秒間に何回行うかを表す数値です。数値が高いほど音質は向上し、データ量が増えますが、録音可能時間は短くなります。44.1 kHzでCD相当、48 kHzでDAT相当、96 kHzでDVD Audio相当の音質が得られます。
- 量子化ビット数とは、1秒間の音声に与えるデータ容量を表す数値です。数値が高いほど多くのデータ容量が与えられ、音質が向上します。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ステレオ録音/モノラル録音を設定する（ステレオ/モノラル）

録音時の音声入力に合わせて、ステレオまたはモノラルを設定します。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「録音設定」 - 「ステレオ/モノラル」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「ステレオ」または「モノラル(L)」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ステレオ :

ステレオ録音をするときに設定します（お買い上げ時の設定）。

モノラル(L) :

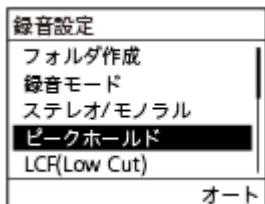
モノラル録音をするときに設定します。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ピーク表示のリセット方法を設定する（ピークホールド）

入力信号の最大値（ピーク値）を保持するかどうかを設定します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「ピークホールド」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オート」または「マニュアル」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オート：

ピーク値を一定時間ごとにリセットします（お買い上げ時の設定）。

マニュアル：

「ピークリセット」を行うまで、ピーク値を保持します。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ノイズを軽減して録音する (LCF(Low Cut))

LCF(Low Cut)機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。マイクの吹かれ音などの不要な低音を防ぐのに有効です。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「LCF(Low Cut)」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン(75Hz)」または「オン(150Hz)」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ :

LCF(Low Cut)機能を解除します（お買い上げ時の設定）。

オン(75Hz) :

75 Hz以下の周波数の音をカットします。

オン(150Hz) :

150 Hz以下の周波数の音をカットします。

ご注意

- XLR/TRSジャックに機器を接続している場合、左右いずれかまたは両方のXLR/TRS INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、LCF(Low Cut)機能が働きません。
- MIC IN/LINE INジャックに外部機器を接続している場合、MIC/LINE INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、LCF(Low Cut)機能が働きません。

ヒント

- LCF(Low Cut)機能を止めるには、手順2で「オフ」を選びます。
- 「オン(75Hz)」は録音の音質へ影響が少なくなるように設定されていますが、ノイズの種類によっては効果が少ない場合があります。その場合は「オン(150Hz)」をお試しください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）

録音時に突発的な大音量が入力されたとき、音のひずみを防ぐために入力を自動的に調節するように設定することができます。

リニアPCMレコーダーでは、1チャンネルに2つのADコンバーターを使い、通常の音声とともに12 dB低い信号を常に確保しています。過大入力が発生した際には、その時点まで戻って録音データを差し替えます。アナログでは不可能なマイナスのリミッター時定数を実現し、音のひずみを防止します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「リミッター」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン(150ms)」、「オン(1sec)」または「オン(1min)」を選び、▶ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン(150ms) :

約0.15秒で入力される音量が通常の状態に戻ります。

オン(1sec) :

約1秒で入力される音量が通常の状態に戻ります。

オン(1min) :

約1分で入力される音量が通常の状態に戻ります。

オフ :

リミッター機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

ご注意

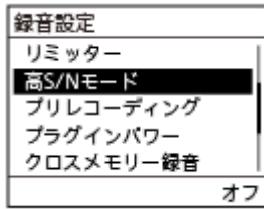
- XLR/TRSジャックに機器を接続している場合、左右いずれかまたは両方のXLR/TRS INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、リミッター機能が働きません。
- MIC IN/LINE INジャックに外部機器を接続している場合、MIC/LINE INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、リミッター機能が働きません。
- リミッター回路とは、信号レベルを最大入力レベル以下に調整するための回路です。突然大きな音が入力された場合でも、音の過大な部分を最大入力レベルの範囲内で最適なレベルに自動設定し、ノイズを抑えます。
- リニアPCMレコーダーのリミッター回路は、0 dBを超えて +12 dB以上の音声入力には対応していません。12 dB以上過入力されると、音がひずむことがあります。
- リミッター機能を有効に設定した場合、表示窓の最大ピーク値が0 dBを超えると、リミッターが動作している状態でのピーク値が表示されます。
- 設定時間は、入力レベルが0 dBを超えた場合に、リミッターが動作してから通常録音に復帰するまでの時間です。断続的に過大入力が入るような音源を録音する際には、頻繁に録音音量が変化し、違和感を感じることがあります。その際にはリカバリー時間の長い設定をお試しください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

高いS/N比で録音する（高S/Nモード）

ダイナミックレンジが広くて録音レベルを上げられない音源を録音するときは、高S/Nモードが有効です。小さな録音レベルでもノイズを抑えて録音することができます。
リニアPCMレコーダーでは、1チャンネルに2つのADコンバーターを使い、入力信号に応じて自動的にADコンバーターを切り替え、高いS/Nを実現しています。そのため、小さな録音レベルでも、ノイズを抑えて録音することができます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「高S/Nモード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

高S/Nモードを有効にします。

オフ：

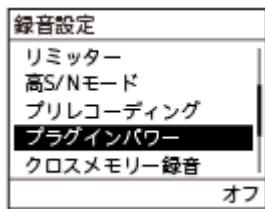
高S/Nモードを無効にします（お買い上げ時の設定）。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

接続マイクの電源をリニアPCMレコーダーから供給する（プラグインパワー）

プラグインパワー機能を有効にすると、MIC IN/LINE INジャックにプラグインパワー対応のマイクを接続した場合、マイクの電源をリニアPCMレコーダーから供給することができます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「プラグインパワー」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

プラグインパワー機能を有効にします。

オフ：

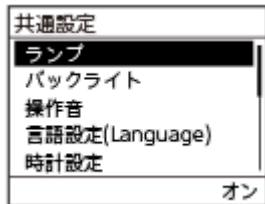
プラグインパワー機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）

操作中の●RECランプ、■REC PAUSEランプ、ピークレベルランプの点灯、消灯を設定します。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「ランプ」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

動作中は●RECランプ、■REC PAUSEランプ、ピークレベルランプが点灯または点滅します（お買い上げ時の設定）。

オフ：

動作中も●RECランプ、■REC PAUSEランプ、ピークレベルランプは点灯／点滅しません。

ご注意

- 「ランプ」を「オフ」に設定しても、ファンタム電源ランプは消灯しません。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

バックライトの点灯、消灯を設定する（バックライト）

表示窓のバックライトの点灯、消灯を設定します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「バックライト」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押してお好みの項目を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

LIGHTキー操作のみ：

LIGHTボタンを操作した場合のみ、バックライトが点灯／消灯します。

20秒：

操作をすると、バックライトが20秒間点灯します（お買い上げ時の設定）。

1分：

操作をすると、バックライトが1分間点灯します。

常時：

バックライトは常に点灯します。

ご注意

- 「常時」に設定すると、電池の寿命が短くなります。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

操作音の設定をする（操作音）

操作確認音のオン／オフを設定します。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「操作音」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります（お買い上げ時の設定）。

オフ：

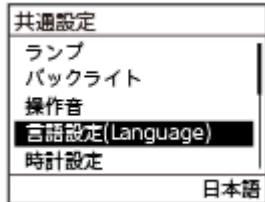
操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

表示言語を切り替える（言語設定（Language））

表示窓に表示される言語を選択します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「言語設定(Language)」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「English」または「日本語」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

English :

英語に設定します。

日本語 :

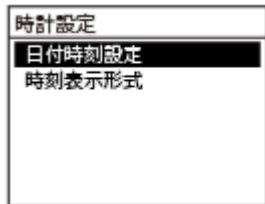
日本語に設定します（お買い上げ時の設定）。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）

日付や時刻を合わせることができます。録音を始める前に設定してください。

- ① ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「日付時刻設定」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- ② 年月日と時分を合わせる。



▲または▼ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。

また、BACK/HOMEボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

- ③ BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

リニアPCMレコーダーをホールドにすると現在時刻が表示されます。

関連項目

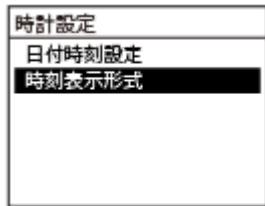
- 誤操作を防止する（ホールド）
- 時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）

12時間表示と24時間表示のいずれかを選ぶことができます。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「時刻表示形式」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押してお好みの設定を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

12時間：

12:00AM=真夜中、12:00PM=正午（お買い上げ時の設定）

24時間：

00:00=真夜中、12:00=正午

関連項目

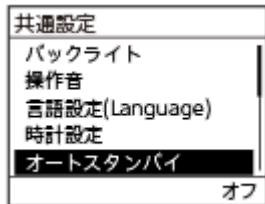
- [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する（オートスタンバイ）

リニアPCMレコーダーが何も操作されないまま設定した時間が経過すると、低消費電力モードに移行します。

- 1 ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートスタンバイ」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押してお好みの設定を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

オートスタンバイ機能は働きません。

5分：

約5分後に低消費電力モードに移行します。

10分：

約10分後に低消費電力モードに移行します。

30分：

約30分後に低消費電力モードに移行します（お買い上げ時の設定）。

60分：

約60分後に低消費電力モードに移行します。

ヒント

- Bluetooth接続中でも、オートスタンバイ機能は有効です。リニアPCMレコーダーが低消費電力モードに移行すると、Bluetooth接続が切断されます。必要に応じて、設定時間を変更してください。

関連項目

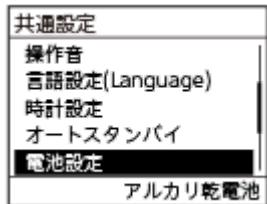
- 電源を入れる
- ホールドを解除する

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

使用する電池の種類を選ぶ（電池設定）

最適化した動作のために、使用する電池の種類を選択します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「電池設定」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「アルカリ乾電池」または「ニッケル水素電池」を選び、▶ボタンを押す。
- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

アルカリ乾電池：

アルカリ乾電池を使用するときに選びます（お買い上げ時の設定）。

ニッケル水素電池：

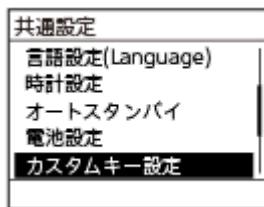
充電式ニッケル水素電池を使用するときに選びます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

カスタムキー（C1/C2）に機能を登録する（カスタムキー設定）

よく使う機能をカスタムキー（C1/C2）に登録すると、キーを押すだけですぐに登録した機能を実行したり、設定画面を表示したりすることができます。

- ① ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「カスタムキー設定」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- ② ▲または▼ボタンを押して「C1:」または「C2:」を選び、▶ボタンを押す。



選択したカスタムキーに登録可能な機能の一覧が表示されます。

- ③ ▲または▼ボタンを押して登録したい機能を選び、▶ボタンを押す。

選択した機能がカスタムキーに登録されます。

- ④ BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

お買い上げ時には、以下の機能が割り当てられています。

C1 :

リミッター

C2 :

LCF(Low Cut)

ヒント

- C1、C2ボタンには、以下の機能を割り当てることができます。
 - 録音先フォルダ
 - フォルダ作成
 - 録音モード

—ステレオ/モノラル

—ピークホールド

—ピークリセット

—LCF(Low Cut)

—リミッター

—高S/Nモード

—プリレコーディング

—イコライザー

—キーコントロール

—イージーサーチ

—再生モード

—再生範囲設定

—保護

—削除

—ファイル情報

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

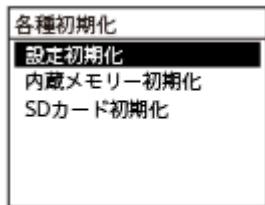
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

ただし、時計設定については初期化されません。

- 1 録音停止中または再生停止中に、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「設定初期化」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「設定を初期値に戻しますか？」と表示されます。

- 2 ◀◀または▶▶ボタンを押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、設定が初期化されます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ヒント

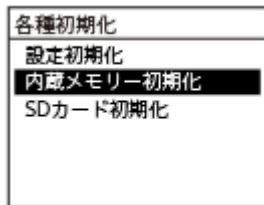
- 途中でやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化します。メモリー内のすべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

- 1 録音停止中または再生停止中に、ホームメニュー - 「各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「内蔵メモリー初期化」または「SDカード初期化」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「全てのデータを削除しますか？」と表示されます。

- 2 ◀◀または▶▶ボタンを押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、選択したメモリーが初期化されます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

- リニアPCMレコーダーで使うSDカードはパソコンで初期化しないでください。必ずリニアPCMレコーダーで行ってください。
- 内蔵メモリーまたはSDカードの初期化をすると、保存されていたすべてのデータが削除されます。（保護したファイルも削除されます。）一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

ヒント

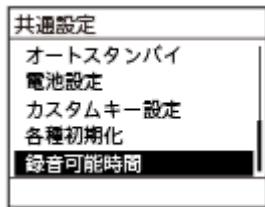
- 途中で初期化をやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音可能時間を確認する（録音可能時間）

現在設定している録音モードでの録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。また、本体およびSDカードの空き容量を表示します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「録音可能時間」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

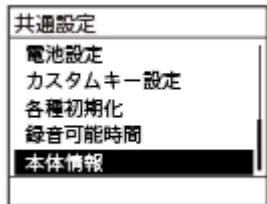
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）

リニアPCMレコーダーの型名とソフトウェアのバージョンを表示します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「本体情報」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

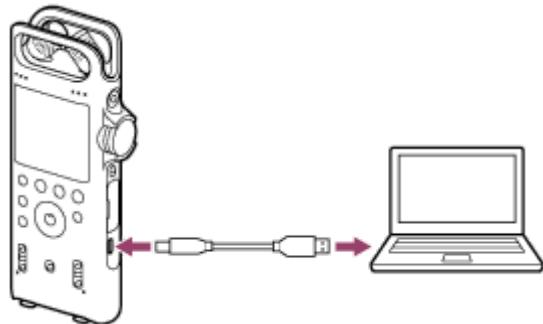
4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する

リニアPCMレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、リニアPCMレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 付属のUSB Type-Cケーブルを使い、リニアPCMレコーダーのUSB Type-C端子と起動しているパソコンのUSBポートを接続する。



- 2 正しく認識されているかを確認する。

- Windowsでは、「コンピューター」または「PC」を開き、「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
- Macでは、Finderに「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でリニアPCMレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間はリニアPCMレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

ご注意

- パソコンと接続して、リニアPCMレコーダーを充電することはできません。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。

この手順で行わない場合、リニアPCMレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 パソコンで下記の操作を行う。

- Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。



→ [PCMRECORDERの取り出し] をクリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

- Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「PCMRECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

2 画面に「アクセス中」と表示されていないことを確認する。

3 リニアPCMレコーダーに接続している付属のUSB Type-Cケーブルを、パソコンのUSBポートとリニアPCMレコーダーのUSB Type-C端子から外す。

ヒント

- パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

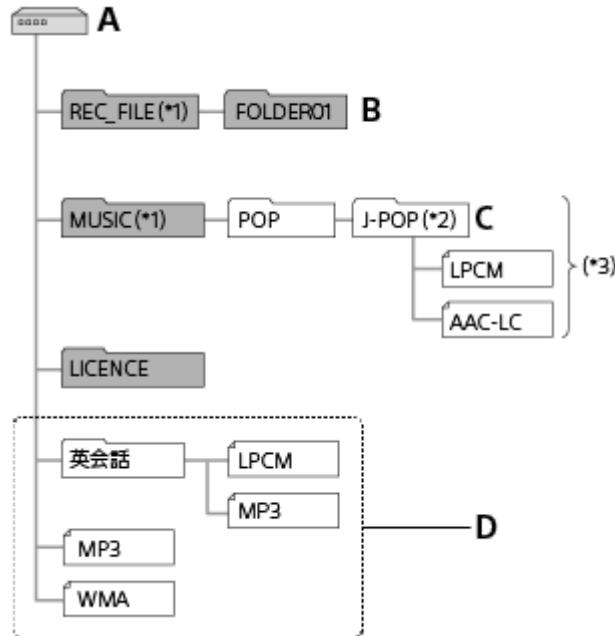
- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダとファイルの構成

リニアPCMレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



A: PCMRECORDER

B: リニアPCMレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

C: パソコンから転送したフォルダ

D: この位置に保存したファイルまたはフォルダは、リニアPCMレコーダーでは認識できません。

*1 REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。

MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。

ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

*2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はリニアPCMレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。（図は、フォルダ名の例です。）

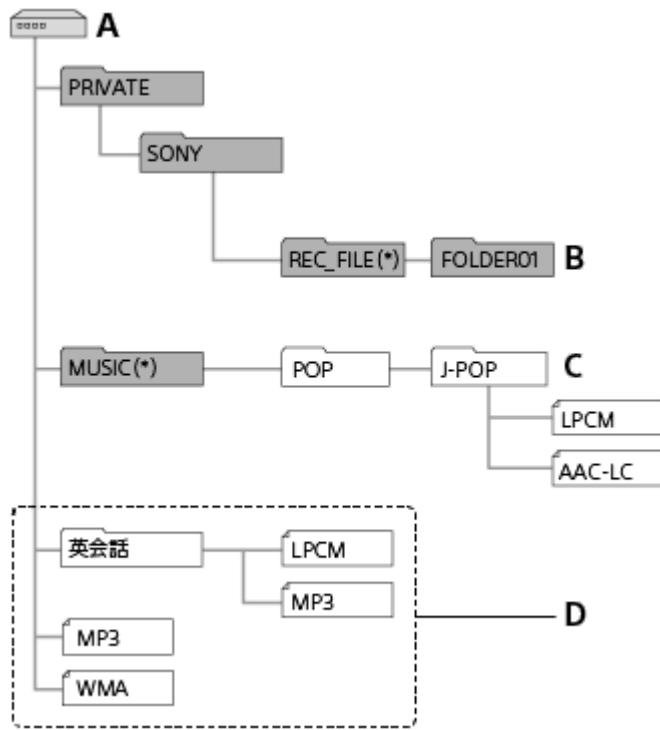
*3 音楽ファイルを認識できるのは、リニアPCMレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

ヒント

- パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーに転送するときは、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくと便利です。
情報を登録すると、リニアPCMレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- タイトル名が登録されていない場合は、リニアPCMレコーダーではファイル名が表示されます。

SDカードの場合

ファイルの保存先がSDカードの場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。



A: SDカード

B: リニアPCMレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

C: パソコンから転送したフォルダ

D: この位置に保存したファイルまたはフォルダは、リニアPCMレコーダーでは認識できません。

* **REC_FILE**フォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。

MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。

ファイルを転送するときは、**REC_FILE**フォルダ内または**MUSIC**フォルダ内に入れてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルをリニアPCMレコーダーからパソコンにコピーして保存する

リニアPCMレコーダーにあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。



① リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する。

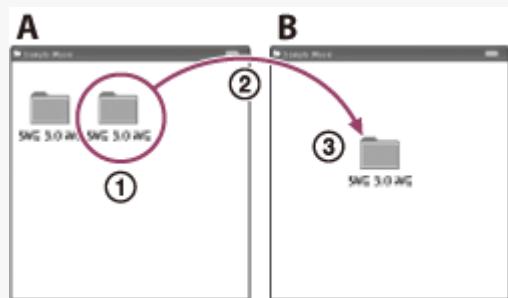
② 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

③ リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す。

ヒント

- ファイルやフォルダをコピー（ドラッグアンドドロップ）するには、コピーしたいフォルダをクリックしたまま（①）、保存先まで移動（ドラッグ）して（②）、離します（ドロップ）（③）。



A: リニアPCMレコーダーまたはSDカード

B: パソコン

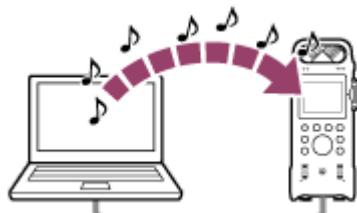
関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（FLAC(.flac)/LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)）をリニアPCMレコーダーにコピーして再生することができます。



1 リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダをリニアPCMレコーダーにコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダをREC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内にドラッグアンドドロップします。

1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。内蔵メモリーおよびSDカード内のフォルダとファイルを合計して、最大5,000件まで認識できます。

3 リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す。

関連項目

- リニアPCMレコーダーの仕様
- リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する
- リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する

パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生します。

- 1 「録音したファイル」または「ミュージック」からファイルを検索して選ぶ。

パソコンからREC_FILEフォルダ内にコピーしたファイルは「録音したファイル」、MUSICフォルダ内にコピーしたファイルは「ミュージック」から検索できます。

ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。

- 2 ▶ボタンを押して再生を始める。

- 3 ■STOPボタンを押して再生を止める。

関連項目

- [再生時の表示](#)
- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

USBメモリーとして利用する

リニアPCMレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるリニアPCMレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをリニアPCMレコーダーに一時保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については「[必要なシステム構成](#)」をご覧ください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーで使用できるSDカード

このリニアPCMレコーダーでは、以下のSDカードをお使いになれます。

- SDカード（～2 GB）
- SDHCカード（4 GB～32 GB）
- SDXCカード（48 GB以上）

最新の動作確認済みSDカードについては、リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ
<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

をご覧ください。

SDカードに記録・再生できるファイルのサイズはリニアPCMレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMとFLACは4 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。

ご注意

- 対応仕様のSDカードでも、すべてのSDカードでの動作を保証するものではありません。
- 録音／再生中は、SDカードを抜き差したり、電池を取り出したり、USB ACアダプターを抜いたり、USB Type-Cケーブルを抜き差したりしないでください。データが破損するおそれがあります。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)
- macOS (v10.10～v10.14)

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、「[サポートホームページで調べる](#)」をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合は、CD-R/RWドライブが必要です。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーの仕様

主な仕様

容量（ユーザー使用可能領域）(*1) (*2)	16 GB (約12.80 GB = 13,743,895,347 Byte)
最大録音ファイル数（1フォルダ内）	199ファイル
最大ファイル数（SDカード合わせて）	5,000ファイル（フォルダ数を含む）
周波数特性 (録音再生時：LINE IN入力、LINE OUT出力時)	<ul style="list-style-type: none"> ● LPCM 192 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～60,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 176.4 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～60,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 96 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～40,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 96 kHz/16 bit (STEREO) : 20 Hz～40,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 88.2 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～40,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 88.2 kHz/16 bit (STEREO) : 20 Hz～40,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 48 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～22,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 48 kHz/16 bit (STEREO) : 20 Hz～22,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 44.1 kHz/24 bit (STEREO) : 20 Hz～20,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● LPCM 44.1 kHz/16 bit (STEREO) : 20 Hz～20,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● MP3 320 kbps (STEREO) : 20 Hz～20,000 Hz (0 dB～-3 dB) ● MP3 128 kbps (STEREO) : 20 Hz～16,000 Hz (0 dB～-3 dB)
再生対応ファイルフォーマット	<p>MP3 (*3) (*4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート：32 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数：16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子：.mp3 <p>WMA (*3) (*5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート：32 kbps～192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数：44.1 kHz ● 拡張子：.wma

	<p>AAC-LC (*3) (*6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート：16 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数：11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子：.m4a
	<p>LPCM (*3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 量子化ビット数：24 ビット ● サンプリング周波数：192/176.4/96/88.2/48/44.1 kHz ● 拡張子：.wav
	<p>LPCM (*3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 量子化ビット数：16 ビット ● サンプリング周波数：192/176.4/96/88.2/48/44.1/22.05 kHz ● 拡張子：.wav
	<p>FLAC (*3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 量子化ビット数：24 ビット ● サンプリング周波数：192/176.4/96/88.2/48/44.1 kHz ● 拡張子：.flac
	<p>FLAC (*3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 量子化ビット数：16 ビット ● サンプリング周波数：192/176.4/96/88.2/48/44.1/22.05 kHz ● 拡張子：.flac
<p>信号対雑音比 (SN比) (録音再生時 (*7) : LINE IN入力、LINE OUT 出力時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高S/Nモードオフの場合：98 dB以上 (1 kHz、IHF-A、負荷インピーダンス：22 kΩ) ● 高S/Nモードオンの場合：100 dB以上 (1 kHz、IHF-A、負荷インピーダンス：22 kΩ)
<p>全高調波ひずみ率 (録音再生時 (*8) : LINE IN入力、LINE OUT 出力時)</p>	0.009%以下 (1 kHz、20 kHz LPF、負荷インピーダンス：22 kΩ)
<p>最大入力音圧 (内蔵マイク)</p>	123 dB SPL
<p>固有雑音 (内蔵マイク)</p>	22 dB SPL(A) Typ

Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"> 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver 4.0 最大通信範囲 (*9)：見通し距離 約10 m 使用周波数帯域：2.4 GHz帯 (2.4000 GHz～2.4835 GHz) 変調方式：FHSS 対応Bluetoothプロファイル (*10)： SPP 1.2 (Serial Port Profile)、A2DP 1.3 (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP 1.3 (Audio Video Remote Control Profile) 登録可能機器数：最大8台 (REC Remote機器とオーディオ機器合わせて) 対応コーデック (*11)：SBC (Subband Codec)
内蔵スピーカー	直径16 mm
入力端子	<ul style="list-style-type: none"> MIC IN/LINE INジャック (ステレオミニ) MIC (MIC ATT : 0) 入力インピーダンス：2 kΩ 規定入力レベル：-50 dBV 最小入力レベル：-55 dBV LINE 入力インピーダンス：8.2 kΩ 規定入力レベル：+4 dBV 最小入力レベル：-10 dBV 最大入力レベル：+10 dBV
出力端子	<ul style="list-style-type: none"> XLR/TRSジャック MIC (MIC ATT : 0) 入力インピーダンス：32 kΩ (ファンタム電源OFF) 規定入力レベル：-48 dBu 最小入力レベル：-58 dBu LINE 入力インピーダンス：12 kΩ 規定入力レベル：+6 dBu 最小入力レベル：-3 dBu 最大入力レベル：+12 dBu
USB端子	USB Type-C端子 High-Speed USB対応
カードスロット	SD対応スロット
再生スピード調節 (DPC)	<ul style="list-style-type: none"> 1.00倍速～0.25倍速： サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC 2.00倍速～0.25倍速： サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM、88.2 kHz未満のFLAC

	<ul style="list-style-type: none"> ● 3.00倍速～0.25倍速：上記以外
スピーカー実力最大出力	200 mW
電源	<ul style="list-style-type: none"> ● DC 6 V 単3形アルカリ乾電池（付属）4本 ● DC 4.8 V 単3形ニッケル水素充電池（別売）4本
動作温度	5 °C～35 °C
最大外形寸法（最大突起部含まず）	約80.2 mm×197.6 mm×37.4 mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約480 g（電池含む）
付属品	「 箱の中身を確認する 」参照
別売アクセサリー	<ul style="list-style-type: none"> ● USB ACアダプター 市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの動作は保証しておりません。 ● USB ポータブル電源 最新の対応機器はhttps://www.sony.jp/battery/search/をご覧ください。

*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

*2 リニアPCMレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*4 これらに加えてリニアPCMレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

*5 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。

*6 著作権保護されたファイルは再生できません。

*7 以下の録音モードの場合

- LPCM 192 kHz 24 bit
- LPCM 176.4 kHz 24 bit
- LPCM 96 kHz 24 bit
- LPCM 88.2 kHz 24 bit
- LPCM 48 kHz 24 bit
- LPCM 44.1 kHz 24 bit

*8 以下の録音モードの場合

- LPCM 192 kHz 24 bit
- LPCM 176.4 kHz 24 bit
- LPCM 96 kHz 16/24 bit
- LPCM 88.2 kHz 16/24 bit
- LPCM 48 kHz 16/24 bit
- LPCM 44.1 kHz 16/24 bit

*9 通信環境によって変化する場合があります。

*10 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*1音声圧縮変換方式のこと

リニアPCMレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

最大録音時間

録音モードの設定別で、最大録音時間（*1）（*2）を記載しています。

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

内蔵メモリー

録音モード	最大録音時間
LPCM 192kHz/24bit (STEREO)	3時間15分
LPCM 176.4kHz/24bit (STEREO)	3時間35分
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	6時間35分
LPCM 96kHz/16bit (STEREO)	9時間55分
LPCM 88.2kHz/24bit (STEREO)	7時間10分
LPCM 88.2kHz/16bit (STEREO)	10時間45分
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	13時間15分
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	19時間50分
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	14時間25分
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	21時間35分
MP3 320kbps (STEREO)	95時間25分
MP3 128kbps (STEREO)	238時間

メモリーカード

録音モード	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB	256 GB
LPCM 192kHz/24bit (STEREO)	3時間40分	7時間25分	14時間50分	29時間45分	59時間35分
LPCM 176.4kHz/24bit (STEREO)	4時間	8時間5分	16時間10分	32時間25分	64時間55分
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	7時間25分	14時間50分	29時間45分	59時間35分	119時間
LPCM 96kHz/16bit (STEREO)	11時間10分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間
LPCM 88.2kHz/24bit (STEREO)	8時間5分	16時間10分	32時間25分	64時間55分	129時間
LPCM 88.2kHz/16bit (STEREO)	12時間10分	24時間20分	48時間40分	97時間20分	194時間
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	14時間50分	29時間45分	59時間35分	119時間	238時間
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	16時間10分	32時間25分	64時間55分	124時間	259時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	24時間20分	48時間40分	97時間20分	194時間	389時間

録音モード	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB	256 GB
MP3 320kbps (STEREO)	107時間	214時間	429時間	858時間	1,717時間
MP3 128kbps (STEREO)	268時間	536時間	1,073時間	2,147時間	4,294時間

1ファイル最大録音可能時間 (*3)

録音モード	内蔵メモリー
LPCM 192kHz/24bit (STEREO)	1時間
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	2時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	6時間45分
MP3 320kbps (STEREO)	7時間25分
MP3 128kbps (STEREO)	18時間30分

* 1 連続録音の場合は、別売のUSB ACアダプターが必要になります。

詳しくは「[電池の持続時間](#)」をご確認ください。

* 2 表記の最大録音時間は目安です。メモリーカードの場合は、カードの仕様によって変わることがあります。

* 3 システム制約でファイルサイズの上限 (LPCMは4 GB、MP3は1 GB) を超えて録音する場合は、ファイルが分割されます。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数

ビットレート別で音楽ファイルの最大再生時間／ファイル数（＊）を記載しています。

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	238時間	3,570ファイル
256 kbps	119時間	1,785ファイル

* パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電池の持続時間

ファイルのデータ形式別で、乾電池の持続時間（*）を記載しています。

乾電池の持続時間（ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)を連続使用時）

録音モード	録音時		録音時 (XLRマイク フ アンタム電源 ON)		内蔵スピ ーカー再 生時	ヘッド ホン再 生時	REC Remote 録音時	Bluetooth 再生時
	録音モ ード 二タ ー あり	録音モ ード 二タ ー なし	録音モ ード 二タ ー あり	録音モ ード 二タ ー なし				
LPCM 192kHz/24bit (STEREO)	約26時 間	約32時 間	約6時 間	約6時 間	約38時間	約40時 間	約22時間	約40時間
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	約28時 間	約36時 間	約6時 間	約6時 間	約52時間	約54時 間	約24時間	約48時間
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	約30時 間	約44時 間	約6時 間	約6時 間	約60時間	約62時 間	約26時間	約54時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	約30時 間	約44時 間	約6時 間	約6時 間	約62時間	約70時 間	約26時間	約56時間
MP3 320kbps (STEREO)	約30時 間	約44時 間	約6時 間	約6時 間	約64時間	約74時 間	約26時間	約60時間

* 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

保証書とアフターサービス

修理や交換などのアフターサービスを受けるには、保証書が必要です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間にについて
当社では、リニアPCMレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

商標について

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXC、SDHC、SD、microSDXC、microSDHC及びmicroSDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Apple、Apple logo、iPhone、MacおよびmacOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。



- Android および Google PlayはGoogle LLCの商標です。
- BLUETOOTH®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



- Sound Forge Audio Studio 12は、MAGIX Software GmbHの登録商標です。

- Nマークは、NFC Forum, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。



- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

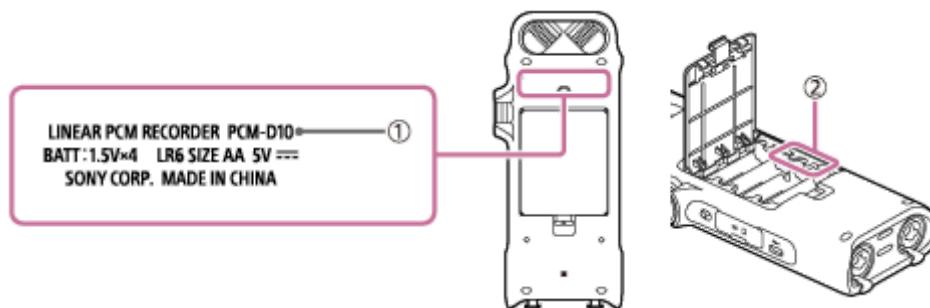
リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電話・FAXで問い合わせる

リニアPCMレコーダーの使いかたやトラブルについて、電話やFAXで問い合わせることができます。本機の商品カテゴリーは「リニアPCMレコーダー」です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- リニアPCMレコーダー本体に関するご質問時：
型名（①）：PCM-D10
シリアルナンバー（②）：電池蓋を開けた内側に記載
ご相談内容：できるだけ詳しく
お買い上げ年月日



- ソフトウェアに関するご質問時：
質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
- FAX：0120-333-389

- [保証書とアフターサービス](#)
- [サポートホームページで調べる](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

サポートホームページで調べる

リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで、トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。

リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページへ:

<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

リニアPCMレコーダーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

関連項目

- [電話・FAXで問い合わせる](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

- 「よくある質問」の各項目で調べる。
- 電池を入れなおす。
電池を入れなおすと問題が解決することがあります。
- SOUND FORGE Audio Studio 12のヘルプで調べる。
SOUND FORGE Audio Studio 12についての操作方法は、SOUND FORGE Audio Studio 12のヘルプで調べることができます。

それでも解決しない場合、ご不明な点は、リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページをご覧いただくな、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照願います。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

関連項目

- [電池を入れる](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [電話・FAXで問い合わせる](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。

- モノラル音声の機器とリニアPCMレコーダーをステレオケーブルで接続して録音したファイルをリニアPCMレコーダーで再生すると、内蔵スピーカーからの再生音が小さくなったり、キュルキュルというような音が聞こえたりする場合がありますが、故障ではありません。

モノラル音声の機器にステレオケーブルを使用してリニアPCMレコーダーに録音すると、左右の音声信号が逆相で出力されるため、内蔵スピーカーで聞くと上記のような現象が起きことがあります。

モノラル音声の機器から録音する場合は、片側がモノラルのケーブルをお使いください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

雑音が入る。

- 内蔵マイクで録音中にリニアPCMレコーダーをこすると、雑音が録音されます。
- 容量の小さなファイルが多数記録されているメモリーに録音すると、雑音が入ることがあります。メモリー内のファイルをパソコンに保存してから、リニアPCMレコーダーでメモリーの初期化をしてください。
- 録音中や再生中にリニアPCMレコーダーを電灯線、蛍光灯、スマートフォン、携帯電話などに近づけすぎると、雑音が入ることがあります。リニアPCMレコーダーを離してください。
- 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていると雑音が入ることがあります。プラグをきれいにクリーニングしてください。
お手入れの方法については、外部マイクの取扱説明書をご覧ください。
- ヘッドホンやイヤホンで聞いているとき、プラグが汚れていると雑音が入ることがあります。プラグをきれいにクリーニングしてください。お手入れの方法については、ヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音中「ピー」という音がする。

- ヘッドホンで録音中の音を聞いているとき、ヘッドホンがマイクと近すぎると「ピー」という音（ハウリング）がする場合があります。ヘッドホンから出力される音を小さくするか、マイクとヘッドホンを離してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 電池の+と-の向きを正しく挿入し直してください。
- 電池が消耗しています。交換してください。
- 電源がオフになっています。
POWERスイッチを「ON」の位置へスライドさせると、電源が入ります。
- ホールドがオンになっています。
HOLDスイッチを「OFF」の位置にスライドさせてください。

関連項目

- [電池を入れる](#)
- [電源を入れる](#)
- [各部のなまえ](#)
- [ホールドを解除する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

電池の持続時間が短い。

- このヘルプガイドに記載の電池の持続時間は、当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切ることをおすすめします。また、オートスタンバイ設定時間を短くしておくと、切り忘れての電池の消耗を抑えることができます。
- REC Remoteを使用したり、Bluetoothオーディオ機器で音声を再生したりすると、電池の持続時間が短くなります。これらの機能を使用しない場合は、「Bluetoothオン/オフ」を「オフ」にしてください。
- 5 °C以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。

関連項目

- [電源を切る](#)
- [低消費電力モードに移行するまでの時間を設定する（オートスタンバイ）](#)
- [電池の持続時間](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

正常に動作しない。

- パソコンで初期化（フォーマット）しています。
リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。

関連項目

- [メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ランプが点灯／点滅しない。

- メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。
「オン」に切り替えてください。

関連項目

- [ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音できない。

- MIC/LINE INPUT LEVELスイッチまたはXLR/TRS INPUT LEVELスイッチの位置が間違っています。内蔵または外部マイクを使って録音するときは「MIC」の位置に、外部機器を接続して録音するときは「LINE」の位置に合わせてください。
- 録音はされていても再生音声がしない場合は、録音時の音量が低く設定されている可能性があります。REC LEVEL ダイヤルの位置を調節してください。
- 「 ミュージック」で管理されているフォルダには録音できません。
- メモリーがいっぱいになっているか、選んだフォルダに199ファイル録音されているため、これ以上のファイルを録音できません。別のフォルダを選ぶか、不要なファイルを削除するか、パソコンに保存してから、メモリーの内容を削除します。あるいは、空き容量のあるSDカードに録音します。
- SDカードを使用している場合、SDカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になっています。解除してください。
- 外部マイクをMIC IN/LINE INジャックにつないで使用するときは、メニューの「プラグインパワー」の設定をご確認ください。
- XLR/TRSジャックにファンタム電源対応のマイクを接続して使用するときは、マイクを接続したあとにファンタム電源スイッチを「ON」の位置に合わせてください。

関連項目

- [録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)
- [内蔵マイクで録音する](#)
- [接続マイクの電源をリニアPCMレコーダーから供給する（プラグインパワー）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

SDカードに録音できない。

- 録音先メモリーとして、SDカードが設定されていません。
- SDカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になっています。解除してください。

関連項目

- [録音先メモリーとフォルダを変更する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。

- 他の機器のヘッドホン端子を使ってリニアPCMレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
- 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。
- MIC/LINE INPUT LEVELスイッチまたはXLR/TRS INPUT LEVELスイッチの位置が間違っています。内蔵または外部マイクを使って録音するときは「MIC」の位置に、外部機器を接続して録音するときは「LINE」の位置に合わせてください。
- 録音はされていても再生音声がしない場合は、録音時の音量が低く設定されている可能性があります。REC LEVEL ダイヤルの位置を調節してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

入力される音がひずむ。

- MIC/LINE INPUT LEVELスイッチまたはXLR/TRS INPUT LEVELスイッチの位置が間違っています。音源、接続に合わせた位置に合わせてください。
- 録音レベルを適切な範囲に調整してください。
- 内蔵マイクまたは外部マイクを使って録音しているとき、音源の音量が大きすぎる場合は、以下のいずれかをお試しください。
 - REC LEVELダイヤルを回して録音レベルを調整する
 - MIC ATTスイッチを「20」の位置に合わせる
 - 音源からマイクを離す
- 外部機器と接続して録音しているとき、入力される音に入力過多な部分があります。外部接続機器側の出力レベルをひずまないレベルまで下げてください。

関連項目

- [録音レベルのピークメーター表示について](#)
- [外部マイクをMIC IN/LINE INジャックに接続して録音する](#)
- [外部マイクをXLR/TRSジャックに接続して録音する](#)
- [内蔵マイクで録音する](#)
- [マイクの音量を瞬時に下げる（マイクアッテネート）](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

内蔵スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンジャック、またはLINE OUTジャックに機器が接続されています。ヘッドホンやLINE OUT接続機器を取り外してください。
- Bluetoothオーディオ機器と接続している場合は、内蔵スピーカーから音が出ません。Bluetooth接続を切断してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ヘッドホンから音が出ない。

- Bluetoothオーディオ機器と接続している場合は、ヘッドホンを接続しても音が出ません。
Bluetooth接続を切断してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetoothオーディオ機器から音が出ない。

- LINE OUTジャックに外部機器が接続されていると、Bluetooth接続しているオーディオ機器から音が出ません。LINE OUTジャックから外部機器を取り外してください。
- 録音中の音は、Bluetoothオーディオ機器からは聞くことができません。本体の \cap (ヘッドホン) ジャックに接続したヘッドホンから聞いてください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。
- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、標準方式の音量操作に対応していない場合があります。いったんBluetooth接続を切断し、リニアPCMレコーダーのホームメニュー - 「Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「音量操作設定」で「拡張方式」を選択したあと、再度Bluetooth接続してから音量操作を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 別売のヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかりと差し込んでください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

「イコライザー」で音質が変化しない。

- 内蔵スピーカー、Bluetoothオーディオ機器またはLINE OUTジャックに接続した外部機器から再生しているときは、イコライザー機能は働きません。別売のヘッドホンを本体の \cap (ヘッドホン) ジャックに接続して再生してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC (速度調節) の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。
DPC (速度調節) の設定を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、DPC (速度調節) の設定で再生スピードを調節してください。

関連項目

- [再生速度を調節する – DPC \(Digital Pitch Control\)](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを再生できない。

- リニアPCMレコーダーが対応しているファイル以外は再生できない場合があります。リニアPCMレコーダーの仕様をご確認ください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを削除できない。

- SDカードを使用している場合、SDカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になっています。解除してください。
- Windowsを使用している場合、ファイル（またはそのファイルの入っているフォルダ）が、パソコン上で「読み取り専用」に設定されています。パソコンでファイルまたはフォルダを表示し、プロパティの「読み取り専用」のチェックを外してください。
- Macを使用している場合、ファイル（またはそのファイルの入っているフォルダ）が、パソコン上で「ロック」に設定されています。パソコンでファイルまたはフォルダを表示し、「ファイル」の「情報を見る」から、「ロック」のチェックを外してください。
- 電池残量が少なくなっています。電池を交換してください。
- 保護されているファイルは削除できません。保護設定を解除してから操作してください。

関連項目

- [電池を入れる](#)
- [ファイルを保護する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
- 選んだフォルダに199のファイルが入っています。不要なファイルを削除するか、別のフォルダを選んでください。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- リニアPCMレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
- ファイルの再生中は、分割できません。
- 保護されているファイルは分割できません。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを移動できない。

- 保護されているファイルは移動できません。
- 「ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリーおよびSDメモリー内の別フォルダに移動することができません。

関連項目

- [ファイルを保護する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルを別のフォルダへコピーできない。

- 保護されているファイルはコピーできません。
- 「ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリーおよびSDメモリー内の別フォルダにコピーできません。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

トラックマークを認識しない。

- PCM-D10以外で作成したトラックマークは本機で認識できないことがあります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

作成したフォルダやファイルが見えない。

- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、リニアPCMレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは、「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

録音日時が「--y--m--d--:--」と表示される。

- PCM-D10以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

オプションメニュー表示の項目が足りない。

- 再生、または録音中は、表示されない項目があります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。

- WindowsのエクスプローラーまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、リニアPCMレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、リニアPCMレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

「しばらくお待ちください」表示が消えない。

- ファイル数が多いと、長時間表示されることがあります、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。このとき電池やUSB ACアダプターを抜かないでください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。
不要なファイルを削除するか、別のSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリーおよびSDカード内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。
不要なファイルを削除するか、別のSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

SDカードが認識されない。

- SDカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
 - パソコンなどリニアPCMレコーダー以外の機器を用いて初期化された可能性があります。
- SDカードは必ずリニアPCMレコーダー上で初期化してください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ファイルコピーに時間がかかる。

- ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。コピーが終わるまでお待ちください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからリニアPCMレコーダーを外し、再度接続してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSB Type-Cケーブルを使用してリニアPCMレコーダーを直接接続してください。
- リニアPCMレコーダーが対応しているシステム構成以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)
- [必要なシステム構成](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。

- 表示できるファイルは8階層目までです。
- リニアPCMレコーダーで対応しているFLAC(.flac)/LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。リニアPCMレコーダーの仕様をご確認ください。
- リニアPCMレコーダーに登録しているフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、それ以上のコンテンツは認識されないことがあります。不要なファイルやフォルダを削除するか、別のSDカードもしくはパソコンに保存してから削除してください。
- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、リニアPCMレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

パソコンが起動しない。

- リニアPCMレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。
リニアPCMレコーダーをパソコンから外して起動してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。

- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離（1 m以内）で登録（ペアリング）を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。新しい電池と入れ替えてください。
- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかつたり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器をなるべく離さないでご使用ください。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動（推奨）」を選択してください。
- Bluetoothオーディオ機器のNFC機能がオフになっています。接続するBluetoothオーディオ機器によっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご確認ください。
- 録音操作中（録音中、録音一時停止中、録音スタンバイ中）は、ワンタッチ接続をすることできません。録音停止状態にしてから、接続を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。
- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、標準方式の音量操作に対応していない場合があります。いったんBluetooth接続を切断し、リニアPCMレコーダーのホームメニュー--「 Bluetooth」--「オーディオ機器」--「音量操作設定」で「拡張方式」を選択したあと、再度Bluetooth接続してから音量操作を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。

- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離（1 m以内）で登録（ペアリング）を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続する相手機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。新しい電池と入れ替えてください。
- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合

また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。

- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーと相手機器をなるべく離さないでご使用ください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動（推奨）」を選択してください。
- スマートフォンの画面ロックを解除してください。
- スマートフォンのNFC機能がオフになっています。接続するスマートフォンによっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- 録音操作中（録音中、録音一時停止中、録音スタンバイ中）は、ワンタッチ接続をすることできません。録音停止状態にしてから、接続を行ってください。

4-744-529-01(2) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

メッセージ表示一覧

ホールド中 HOLDスイッチを解除してください

リニアPCMレコーダーが誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。HOLDスイッチを「OFF」の位置に合わせて、ホールドを解除してください。
(「ホールドを解除する」参照)

電池が残りわずかです

電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内削除などができません。新しい電池と取り替えてください。
(「電池を入れる」参照)

電池残量がありません

電池残量がなく、リニアPCMレコーダーの操作ができません。新しい電池と取り替えてください。
(「電池を入れる」参照)

SDカードエラー

SDカードスロットにSDカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんSDカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のSDカードをお使いください。

非対応のSDカードです

リニアPCMレコーダーが対応していないSDカードが使われています。リニアPCMレコーダーで使用できるSDカードを確認してください。
(「リニアPCMレコーダーで使用できるSDカード」参照)

書き込みできないSDカードです

SDカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になっています。解除してください。

メモリーが一杯です

録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
(「ファイルを削除する」参照)

ファイルが一杯です

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
(「ファイルを削除する」参照)

登録が一杯です

フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
(「フォルダ名を変更する」参照)

トラックマークが一杯です

すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを削除してください。
(「トラックマークを削除する」参照)

内蔵メモリーの初期化が必要です／SDカードの初期化が必要です

- パソコンで内蔵メモリーまたはSDカードを初期化したため、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで内蔵メモリーまたはSDカードの初期化をしてください。パソコンで初期化しないでください。
(「メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）」参照)

- 内蔵メモリーまたはSDカードに、REC_FILEフォルダがありません。内蔵メモリーまたはSDカードを初期化すると、REC_FILEフォルダが自動で作成されます。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)

処理を継続できません

- リニアPCMレコーダーの電池を取り外して入れなおし、再度電源を入れてください。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでリニアPCMレコーダーを初期化してください。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)
- 内蔵メモリーまたはSDカードが、ファイルシステム異常になっています。
パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)
- 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

フォルダがありません

- 移動／コピー先として選択したメモリーにフォルダがありません。フォルダを作成してから操作してください。
(「[フォルダを作成する](#)」参照)
- REC_FILEフォルダ内にフォルダがありません。フォルダを作成してから操作してください。
(「[フォルダを作成する](#)」参照)

ファイルがありません

選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動などの操作ができません。

トラックマークがありません

トラックマークが設定されていないため、トラックマークの削除、全分割が実行できません。

SDカードがないため初期化できません

SDカードスロットにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。
(「[SDカードに録音する](#)」参照)

SDカードがありません

- SDカードスロットにSDカードが挿入されていないため、「ファイル移動」の「SDカードへ移動」、「ファイルコピー」の「SDカードへコピー」の設定はできません。
- SDカードスロットにSDカードが挿入されていないため、「クロスメモリー録音」をオンにしても、SDカードに切り替えて録音することはできません。

これ以上フォルダを作成できません

- フォルダ数とファイル数の合計が最大になったため、新規のフォルダを作成できません。いくつかのフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
- フォルダ名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)

フォルダを作成ませんでした

内蔵メモリーまたはSDカードが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)

フォルダを削除できませんでした

内蔵メモリーまたはSDカードが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)

ファイルが保護されています

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。削除などできません。リニアPCMレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。
(「[ファイルを保護する](#)」参照)

保護されたファイルを削除できません

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。リニアPCMレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外してからやり直してください。
(「[ファイルを保護する](#)」参照)

削除できないデータがありました

フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

非対応のデータです

- リニアPCMレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。リニアPCMレコーダーが対応しているファイル形式（拡張子）は、FLAC(.flac) / LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
(「[リニアPCMレコーダーの仕様](#)」参照)
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。

編集できないファイル形式です

リニアPCMレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。リニアPCMレコーダーが対応しているファイル形式（拡張子）は、FLAC(.flac) / LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
(「[リニアPCMレコーダーの仕様](#)」参照)

操作できません

- 内蔵メモリーまたはSDカードが、ファイルシステム異常になっています。
パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照)
- 内蔵メモリーが後発不良（BADBLOCK）になった場合、データの書き込みができません。リニアPCMレコーダーの修理が必要です。
- SDカードが後発不良（BADBLOCK）になった場合、データの書き込みができません。新しいSDカードを準備してください。
- メモリーが一杯のため、フォルダ名やファイル名を変更できません。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
- フォルダ名またはファイル名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
- ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。
- 分割実行位置の直前または直後にトラックマークが設定されているため、「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭または終端から近い位置にトラックマークが設定されているため、「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭や終端に近い位置では、分割できません。
- 同名のトラックマークファイルがあるため、ファイルの移動／コピー、または分割をできません。

新しいファイルで録音を継続します

録音中のファイルがファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。

ファイル数が上限を超えるため分割できません

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを削除してからやり直してください。
(「[ファイルを削除する](#)」参照)

同名のファイルが存在します

作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。

故障です

何らかの原因でシステムエラーが発生しています。リニアPCMレコーダーの電池を取り外して入れなおし、再度電源を入れてください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。
(「[電話・FAXで問い合わせる](#)」参照)

再生中は操作できません

オプションメニューと各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいます。再生を停止してから、操作してください。

録音中は操作できません

オプションメニューと各種設定メニューで、録音中は実行できない項目を選んでいます。録音を停止してから、操作してください。

メモリーを切り換えて録音を継続します

「クロスメモリー録音」が有効に設定されている場合、現在のメモリーがいっぱいになると自動的に、もう一方のメモリーに切り替えて録音を継続します。

(「[メモリーを切り替えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)」参照)

電池残量がないためファンタム電源を使用できません

電池残量がなく、リニアPCMレコーダーに接続した外部マイクに電源供給ができません。新しい電池と取り替えてください。

本機の供給能力を超えたためファンタム電源を切りました

リニアPCMレコーダーから外部マイクに供給できる電力の上限を超えたため、ファンタム電源がオフになりました。

リミッターとLCFはL/RともにMICの場合のみ有効です

XLR/TRSジャックに機器を接続している場合、左右いずれかまたは両方のXLR/TRS INPUT LEVELスイッチが「LINE」の位置になっていると、LCF(Low Cut)機能またはリミッター機能が働きません。

ペアリングませんでした。もう一度ペアリングしなおしてください。

リニアPCMレコーダーとスマートフォンとのペアリングに失敗しました。お使いのスマートフォンのBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

(「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」参照)

接続できません。相手機器を確認し再接続してください。

Bluetooth接続に失敗しました。接続するBluetoothオーディオ機器のBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

機器登録できません。接続中のREC Remoteと切断してから実行してください。

REC Remote接続中に、他のスマートフォンを機器登録（ペアリング）することはできません。REC Remote接続を切断してから行ってください。

Bluetooth接続中は機器登録できません。切断してから実行してください。

Bluetooth接続中に、他のオーディオ機器やスマートフォンを機器登録（ペアリング）することはできません。切断してから実行してください。

接続中の機器情報は削除できません。切断してから実行してください。

Bluetooth接続中のオーディオ機器またはスマートフォンの機器情報は、削除できません。Bluetooth接続を切斷してから行ってください。

(「[Bluetooth接続を切斷する](#)」 (Bluetooth機能) 参照)

(「[Bluetooth接続を切斷する](#)」 (REC Remote) 参照)

登録済みの機器がありません。機器登録（ペアリング）してください。

登録済みのBluetoothオーディオ機器がないため、Bluetooth接続できません。機器登録（ペアリング）を行ってください。

(「[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)」 参照)

接続されている機器がありません

Bluetooth接続されているオーディオ機器がないため、Bluetooth接続を切斷できません。

失敗しました。もう一度タッチしてください。

リニアPCMレコーダーとオーディオ機器またはスマートフォンのワンタッチ接続（NFC接続）に失敗しました。もう一度タッチしてください。

(「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」 (Bluetooth機能) 参照)

(「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」 (REC Remote) 参照)

選択された機器とはすでに接続しています

選択したBluetoothオーディオ機器とは、すでにBluetooth接続済みです。

機器が見つかりませんでした。相手機器を確認し、もう一度機器登録してください。

Bluetoothオーディオ機器の検索で、機器登録（ペアリング）可能なBluetoothオーディオ機器が見つかりませんでした。相手機器がペアリングモードになっているか確認し、再度ペアリングを行ってください。

(「[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)」 参照)

接続できませんでした。相手機器から接続してください。

REC Remoteの機器登録（ペアリング）が完了したあと、相手機器と接続できませんでした。相手機器から接続してください。

(「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」 参照)

設定を有効にするには、Bluetoothオーディオ機器と再接続してください

Bluetoothオーディオ機器との接続中に、再接続が必要となる設定の変更がありました。設定を有効にするには、Bluetooth接続を切斷したあと、再接続してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-D10

システム上の制約

リニアPCMレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間まで録音できない。

様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間にになります。上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

音楽ファイルを順番に表示、再生できない。

パソコンを使って、リニアPCMレコーダーに転送した音楽ファイルは、メタ情報のトラック番号やファイル名をもとに並び替えます。

録音中に自動的に分割されてしまう。

録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えててしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

英文字がすべて大文字になってしまう。

パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまることがあります。

フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。

リニアPCMレコーダーで表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、またはタイトル名を半角英数字に置き換えてください。

A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。

ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。

ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。

ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。